

平成20年

4週8休型休市日試行に関する
アンケート調査（集計結果）

平成20年9月

東京都中央卸売市場事業部

【 目 次 】

I 平成20年3月アンケート

1	アンケート回収状況	1
2	業種別割合（仲卸業者・売買参加者・水産小売業者）	1
3	売上への影響について （仲卸業者・売買参加者・水産小売業者・鮭商・関連事業者）	3
4	経費への影響について	5
5	4週8休試行への評価	
(1)	営業面での評価（卸売業者・仲卸業者）	8
(2)	勤務面での評価（卸売業者・仲卸業者）	9
(3)	4週8休の評価（売買参加者・水産小売業者・鮭商・関連事業者）	10
6	勤務状況について（卸売業者・仲卸業者）	12
7-1	休市日の業務について（卸売業者・仲卸業者）	12
7-2	休市日の業務について（売買参加者・水産小売業者・鮭商・関連事業者）	14
8	休市日に係る産地からの要望や要請（卸売業者）	14
9	4週8休型休市日試行に関する意見欄（自由意見）	14

II 平成20年6月アンケート

1	アンケート回収状況	19
2	業種別割合（仲卸業者・売買参加者・水産小売業者）	19
3	売上への影響について （仲卸業者・売買参加者・水産小売業者・鮭商・関連事業者）	20
4	経費への影響について	23
5	4週8休試行への評価	26
6	勤務状況について（卸売業者・仲卸業者）	29
7-1	休市日の業務について（卸売業者・仲卸業者）	30
7-2	休市日の業務について（売買参加者・水産小売業者・鮭商・関連事業者）	32
8	休市日に係る産地からの要望や要請（卸売業者）	33
9	産地等への周知活動（卸売業者）	33
10	4週8休型休市日試行に関する意見欄（自由意見）	34

III 4週8休型休市日試行時の取扱高実績（参考資料）

1	3月試行時実績	39
2	6月試行時実績	40

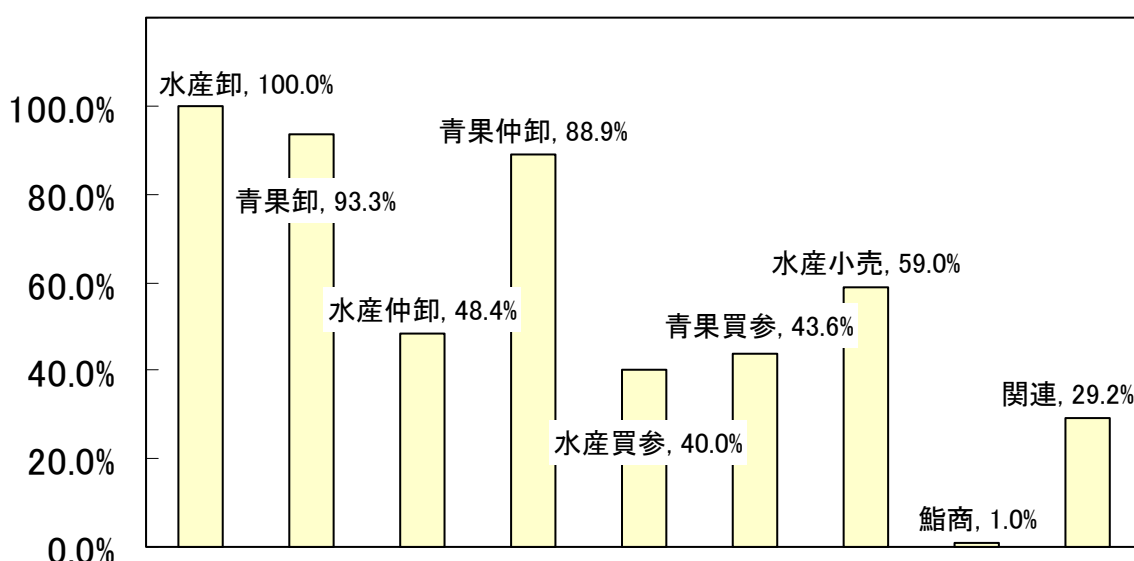
平成20年3月 4週8休型休市日試行に関するアンケート調査集計結果

1 アンケート回収状況

	水産卸	青果卸	水産仲卸	青果仲卸	水産買参	青果買参	水産小売	鮭商	関連	合計
回収数	9	14	450	338	164	2,354	413	20	108	3,870
対象者数	9	15	930	380	410	5,400	700	2,000	370	10,214
回収率	100.0%	93.3%	48.4%	88.9%	40.0%	43.6%	59.0%	1.0%	29.2%	37.9%

各業種別のアンケート回収率は、全体で37.9%、回収率の最も低かった鮭商を除いた回収率は、46.9%であった。

アンケート回収率



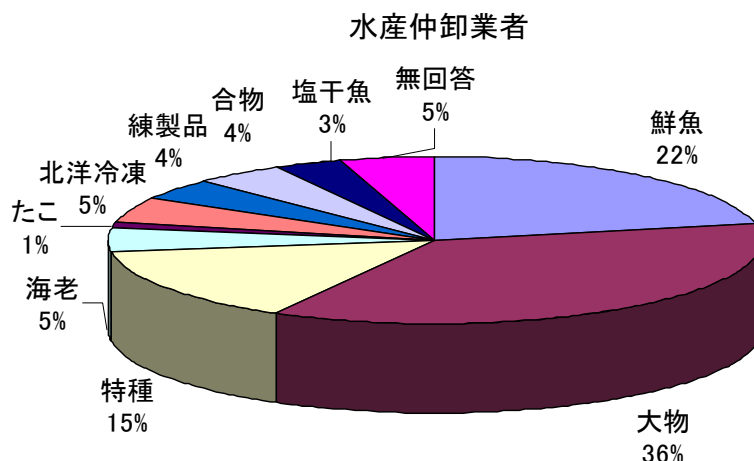
2 業種別割合

(1) 仲卸業者

水産仲卸業者

区分	鮮魚	大物	特種	海老	たこ	北洋冷凍	練製品	合物	塩干魚	無回答	合計
回答数	99	162	67	21	4	22	19	20	15	21	450
回答率	22.0%	36.0%	14.9%	4.7%	0.9%	4.9%	4.2%	4.4%	3.3%	4.7%	100.0%

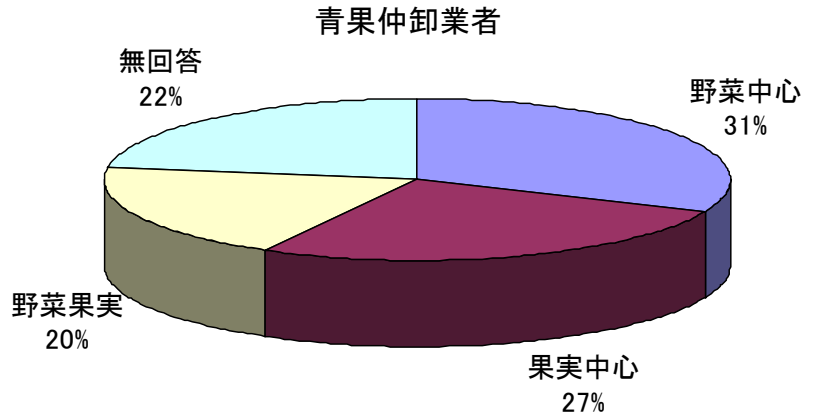
主な取扱種別は、鮮魚と大物で、全体の約6割近くを占めており、特種を除く取扱種別は5%未満となっている。



青果仲卸業者

区分	野菜中心	果実中心	野菜果実	無回答	合計
回答数	106	90	66	76	338
回答率	31.4%	26.6%	19.5%	22.5%	100.0%

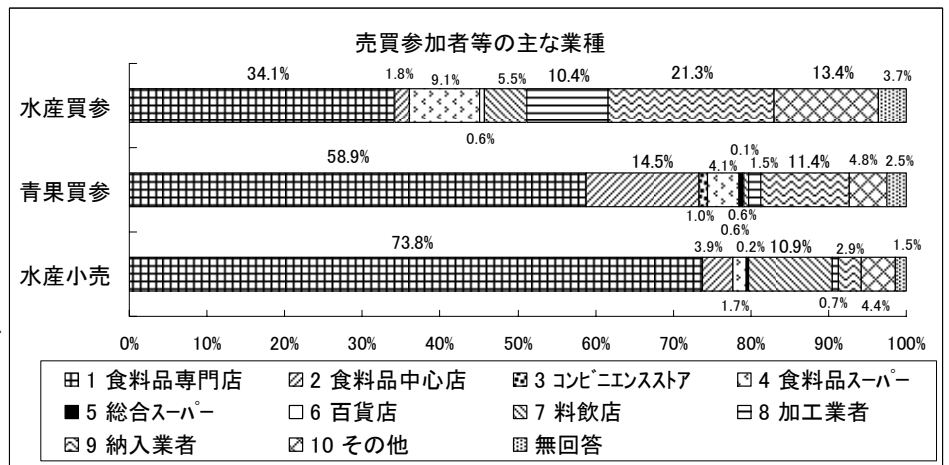
主な取扱種別は、野菜中心が最も多く、次が果実中心である。約5割の仲卸業者が専門性を持った商品取り扱いをしていると考えられる。



(2) 売買参加者及び水産小売業者

	区分	1 食料品専門店	2 食料品中心	3 コンビニエンスストア	4 食料品スーパー	5 総合スーパー	6 百貨店	7 料飲店	8 加工業者	9 納入業者	10 その他	無回答	合計
水産買参	回答数	56	3	0	15	0	1	9	17	35	22	6	164
	回答率	34.1%	1.8%	0.0%	9.1%	0.0%	0.6%	5.5%	10.4%	21.3%	13.4%	3.7%	100%
青果買参	回答数	1,386	341	23	97	13	3	15	36	269	112	59	2,354
	回答率	58.9%	14.5%	1.0%	4.1%	0.6%	0.1%	0.6%	1.5%	11.4%	4.8%	2.5%	100%
水産小売	回答数	305	16	0	7	1	0	45	3	12	18	6	413
	回答率	73.8%	3.9%	0.0%	1.7%	0.2%	0.0%	10.9%	0.7%	2.9%	4.4%	1.5%	100%

主な業種は、各区分ともに「食料品専門店」が最も多く、水産小売については、73.8%を占めている。水産買参では納入業者が次に多い21.3%、青果買参は食料品中心店が14.5%、水産小売では料飲店が10.9%である。



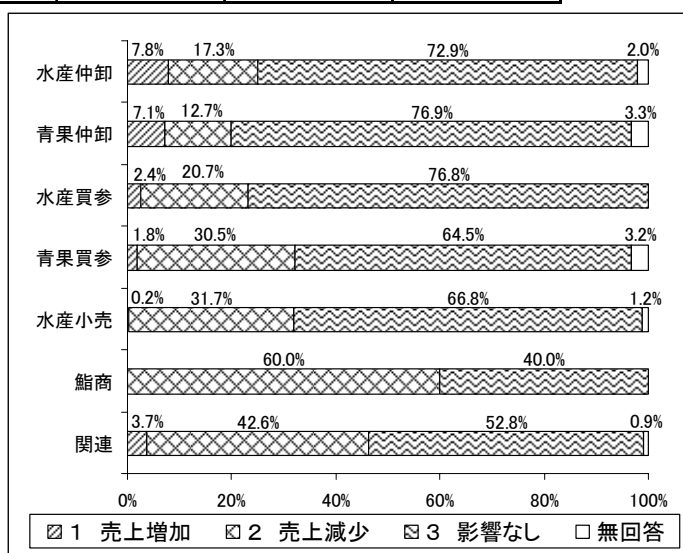
3 売上への影響について（仲卸業者・売買参加者・水産小売業者・鮭商・関連事業者）

●売上への影響について

	1 売上増加	2 売上減少	3 影響なし	無回答	計
水産仲卸	35 7.8%	78 17.3%	328 72.9%	9 2.0%	450 100.0%
青果仲卸	24 7.1%	43 12.7%	260 76.9%	11 3.3%	338 100.0%
水産買参	4 2.4%	34 20.7%	126 76.8%	0 0.0%	164 100.0%
青果買参	42 1.8%	718 30.5%	1,518 64.5%	76 3.2%	2,354 100.0%
水産小売	1 0.2%	131 31.7%	276 66.8%	5 1.2%	413 100.0%
鮭商	0 0.0%	12 60.0%	8 40.0%	0 0.0%	20 100.0%
関連	4 3.7%	46 42.6%	57 52.8%	1 0.9%	108 100.0%

売上への影響については、影響なしの回答が鮭商・関連を除き60%を超えている。

売上減少は特に鮭商60%、関連42.6%であった。



主な記述回答（カッコ内の数字は回答数を表す）

【水産仲卸業者】

<1> 「1 売上増加」の中で、理由の記述があった主なもの 回答数 30 件

- ・休市日前後の売上が増す 53%(16)
- ・メリハリがついた 13%(4)

<2> 「2 売上減少」の中で、理由の記述があった主なもの 回答数 66 件

- ・単純に営業日数が減ったから 50%(33)
- ・休日前でも2日分仕入れるとは限らない 24%(16)

【青果仲卸業者】

<1> 「1 売上増加」の中で、理由の記述があった主なもの 回答数 26 件

- ・休市前後で2日分相当の入荷があり、取引が活性化された 54%(14)
- ・休市があることにより相場が安定し、週中の安値が回避された 19%(5)
- ・前年3月より単価高の傾向であった 15%(4)
- ・休市対応商品を注文することで、無駄な仕入れがなくなった 8%(2)

<2> 「2 売上減少」の中で、理由の記述があった主なもの 回答数 34 件

- ・1日で2日分の売上は達成できない 85%(29)

- ・前年より相場が安かった 6%(2)

【水産売買参加者】

<1> 「1 売上増加」の中で、理由の記述があった主なもの 回答数 4 件

- ・営業努力等売上に力を入れた 50%(2)
- ・社員の労働意欲が増した 25%(1)
- ・仕入れの増加から売上につながった 25%(1)

<2> 「2 売上減少」の中で、理由の記述があった主なもの 回答数 30 件

- ・営業日の減少 50%(15)
- ・休日前後の売上だけではカバーできない 20%(6)
- ・水曜が毎週休市だと思われているため 10%(3)

【青果売買参加者】

<1> 「1 売上増加」の中で、理由の記述があった主なもの 回答数 26 件

- ・商品取引が活発になったため 46%(12)
- ・2日分として多めに注文があったため 19%(5)
- ・品物の値が上がったため 12%(3)
- ・社会情勢により国産野菜が高騰したため 12%(3)
- ・ロスが減った 4%(1)
- ・通常3月は上がるもの 4%(1)

<2> 「2 売上減少」の中で、理由の記述があった主なもの 回答数 519 件

- ・商品確保が難しかったため 24%(124)
- ・休市により客が減少したため 22%(115)
- ・仕入れ単価が上昇したため 11%(58)
- ・営業日が減ったため 10%(53)
- ・鮮度が落ちたため 8%(40)
- ・休日分の売り上げをカバーできないため 4%(20)
- ・納品に影響があったため 3%(16)
- ・運搬量に限界があったため 1%(4)

【水産小売業者】

<1> 「2 売上減少」の中で、理由の記述があった主なもの 回答数 94 件

- ・営業日数が減ったため 28%(26)
- ・消費者が水曜休市を認知している 27%(25)
- ・休市による仕入れに過不足が生じるため 20%(19)
- ・鮮度が落ちる 14%(13)
- ・休市前後は仕入れ値が高くなるため 7%(7)
- ・不景気のため 2%(2)

【鮭商】

<1> 「2 売上減少」の中で、理由の記述があった主なもの 回答数 10 件

- ・休市で仕入れられないため品不足となった 30%(3)
- ・休市を見込んだ仕入れでロスが出た 20%(2)
- ・休市前後の魚が高い 10%(1)

【関連事業者】

<1> 「1 売上増加」の中で、理由の記述があった主なもの 回答数 3 件

- ・メリハリのある効果的な営業ができたため 67%(2)
- ・休市と売上の増減は関連しない 33%(1)

<2> 「2 売上減少」の中で、理由の記述があった主なもの 回答数 38 件

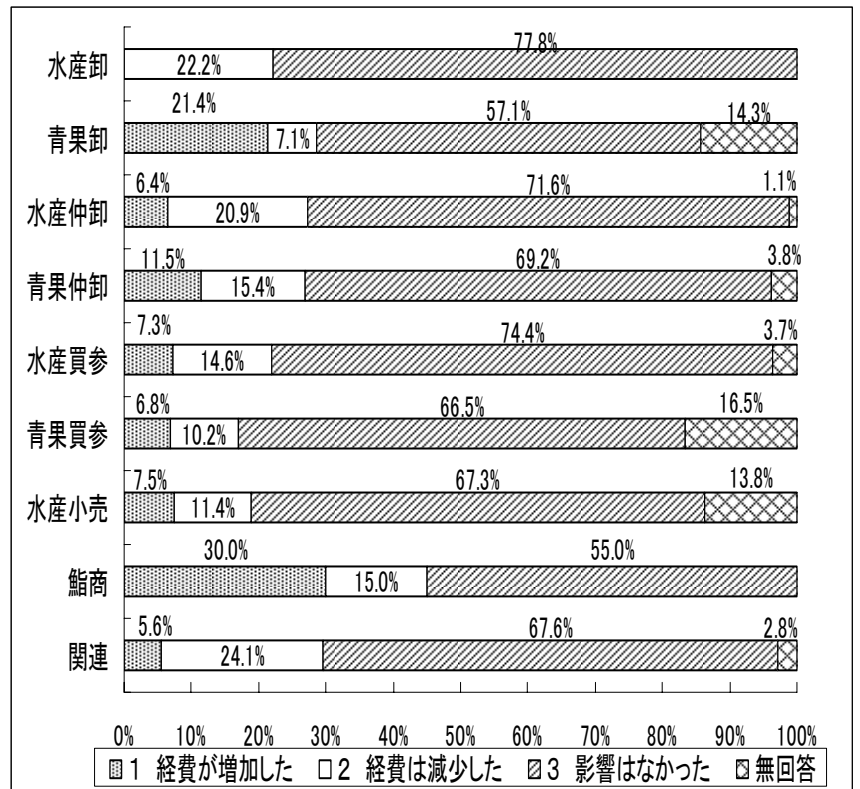
- ・休市が増えたことによる営業日数減のため 92%(35)
- ・八百屋さんが減ったから 3%(1)

4 経費への影響について

●経費への影響について

	1 経費が増加した	2 経費は減少した	3 影響はなかった	無回答	計
水産卸	0 0.0%	2 22.2%	7 77.8%	0 0.0%	9 100%
青果卸	3 21.4%	1 7.1%	8 57.1%	2 14.3%	14 100%
水産仲卸	29 6.4%	94 20.9%	322 71.6%	5 1.1%	450 100%
青果仲卸	39 11.5%	52 15.4%	234 69.2%	13 3.8%	338 100%
水産買参	12 7.3%	24 14.6%	122 74.4%	6 3.7%	164 100%
青果買参	160 6.8%	239 10.2%	1,566 66.5%	389 16.5%	2,354 100%
水産小売	31 7.5%	47 11.4%	278 67.3%	57 13.8%	413 100%
鮭商	6 30.0%	3 15.0%	11 55.0%	0 0.0%	20 100%
関連	6 5.6%	26 24.1%	73 67.6%	3 2.8%	108 100%

経費が増加したという回答は業種別では鮭商が30%と最も多く、減少したという回答は関連事業者24%であったが、各業種とも影響が無かったとする回答が、50%を超えている。



増加・減少要因については、下記「4 - 1」、「4 - 2」のとおりであるが、回答数が少なく、又、同じ業種において同一項目を増加・減少要因とするものが混在しており、各々の休市日対応（休日手当支給有無、営業を行うか否か等）によって様々なものと考えられる。

4 - 1 増加要因

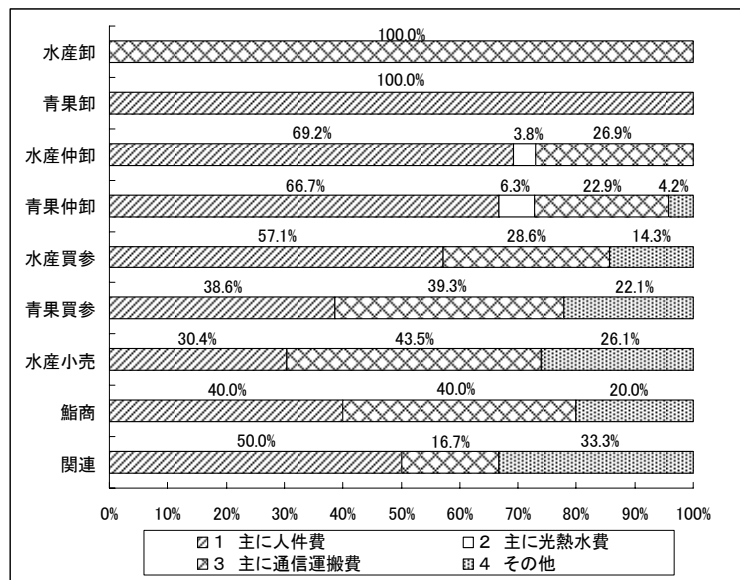
●経費増加要因【複数回答可】

	1 主に人件費	2 主に光熱水費	3 主に通信運搬費	4 その他	計
水産卸	0 0.0%	0 0.0%	1 100.0%	0 0.0%	1 100%
青果卸	3 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	3 100%
水産仲卸	18 69.2%	1 3.8%	7 26.9%	0 0.0%	26 100%
青果仲卸	32 66.7%	3 6.3%	11 22.9%	2 4.2%	48 100%
水産買参	8 57.1%	0 0.0%	4 28.6%	2 14.3%	14 100%
青果買参	54 38.6%	0 0.0%	55 39.3%	31 22.1%	140 100%
水産小売	7 30.4%	0 0.0%	10 43.5%	6 26.1%	23 100%
鮪商	2 40.0%	0 0.0%	2 40.0%	1 20.0%	5 100%
関連	3 50.0%	0 0.0%	1 16.7%	2 33.3%	6 100%

経費が増加したと回答した者の内、主に人件費が増加したとする者が多く、特に青果卸では増加要因の全てが人件費であった。

仲卸業者は水産青果ともに増加要因の70%弱を人件費が占めている。

売買参加者、水産小売では、通信運搬費とする傾向がやや見られる。



選択肢1～4と回答した理由の主な記述回答内容（カッコ内の数字は回答数）

【水産仲卸業者】回答数 26 件

- ・人件費（休日手当等）の増加 38% (10)
- ・休日配達の運賃の増加 27% (7)
- ・稼働日数に比べると人件費が割高になる 16% (4)

【青果仲卸業者】回答数 28 件

- ・人件費（休日手当等）の増加 93% (26)
- ・休日配達の運賃の増加 8% (2)

【水産売買参加者】回答数 10 件

- ・人件費（休日手当等）の増加 40% (4)
- ・休日配達の運賃の増加 30% (3)

【青果売買参加者】回答数 96 件

- ・人件費（休日手当等）の増加 26% (25)

- ・通信運搬費が増えた 21%(20)
- ・仕入れに係る費用が増えた 13%(12)
- ・保管料が増えた 7%(7)
- ・維持管理費が増えた 3%(3)

【水産小売業者】回答数 5 件

- ・休市前の魚価高騰による仕入額増 40%(2)
- ・鮮度保持のため、氷を大量使用した 20%(1)
- ・運賃の増 20%(1)

【鮭商】回答数 4 件

- ・別ルートで仕入れたため割高となった 25%(1)
- ・休市前日に仕込み等をするので経費増となった 25%(1)

【関連事業者】回答数 4 件

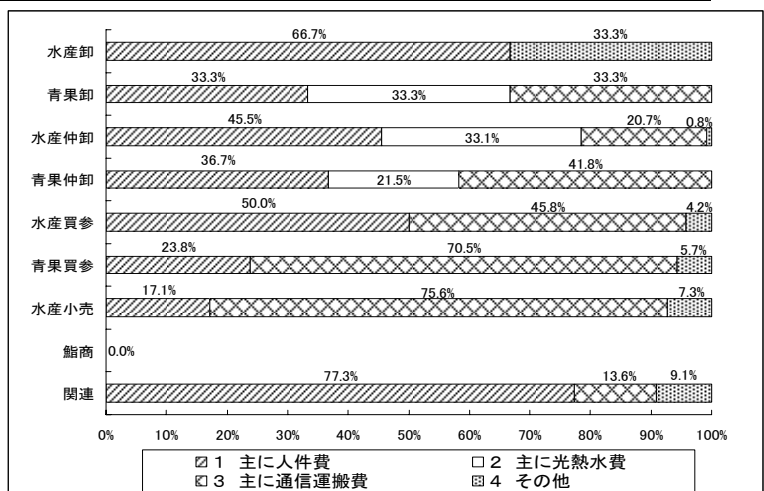
- ・基礎経費（人件費・光熱水費等）の割合が上昇したため 75%(3)
- ・休市でも営業稼動したため 25%(1)

4 - 2 減少要因

●経費減少要因【複数回答可】

	1 主に人件費	2 主に光熱水費	3 主に通信運搬費	4 その他	計
水産卸	2 66.7%	0 0.0%	0 0.0%	1 33.3%	3 100.0%
青果卸	1 33.3%	1 33.3%	1 33.3%	0 0.0%	3 100.0%
水産仲卸	55 45.5%	40 33.1%	25 20.7%	1 0.8%	121 100.0%
青果仲卸	29 36.7%	17 21.5%	33 41.8%	0 0.0%	79 100.0%
水産買参	12 50.0%	0 0.0%	11 45.8%	1 4.2%	24 100.0%
青果買参	50 23.8%	0 0.0%	148 70.5%	12 5.7%	210 100.0%
水産小売	7 17.1%	0 0.0%	31 75.6%	3 7.3%	41 100.0%
鮭商	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
関連	17 77.3%	0 0.0%	3 13.6%	2 9.1%	22 100.0%

経費が減少したと回答した者の内、主に人件費が減少したとする者が多く、特に水産卸・水産買参・関連では50%を超えている。通信運搬費の減少は水産小売、青果買参、水産買参などが多い。



選択肢 1 ~ 4 と回答した理由の主な記述回答内容（カッコ内の数字は回答数）

【水産仲卸業者】回答数 46 件

- ・人件費が休日分減った 43%(20)
- ・休みに伴い、電気、水道、運送が稼動してなかった 30%(14)
- ・単純に営業日が減った 20%(9)

【青果仲卸業者】回答数 26 件

- ・アルバイトを中心とした休市日の人件費 58%(15)
- ・完全休業による光熱水費・通信運搬費の減 38%(10)

【水産売買参加者】回答数 15 件

- ・アルバイトの人件費減少 47%(7)
- ・高速代、運賃減少 20%(3)

【青果売買参加者】回答数 121 件

- ・市場へ行かない(通信運搬費減) 74%(89)
- ・人件費が減った 12%(15)
- ・維持管理費減 7%(9)
- ・計画性もてる 2%(2)

【水産小売業者】回答数 18 件

- ・休みが増えた分の通信運搬費(ガソリン代・包装費等)が減った 78%(14)
- ・休みが増えた分の人件費が減った 17%(3)
- ・仕入れの減少 6%(1)

【関連事業者】回答数 10 件

- ・人件費(アルバイト・パート代)の減少 80%(8)
- ・光熱水費の減少 20%(2)

5 4週8休試行への評価

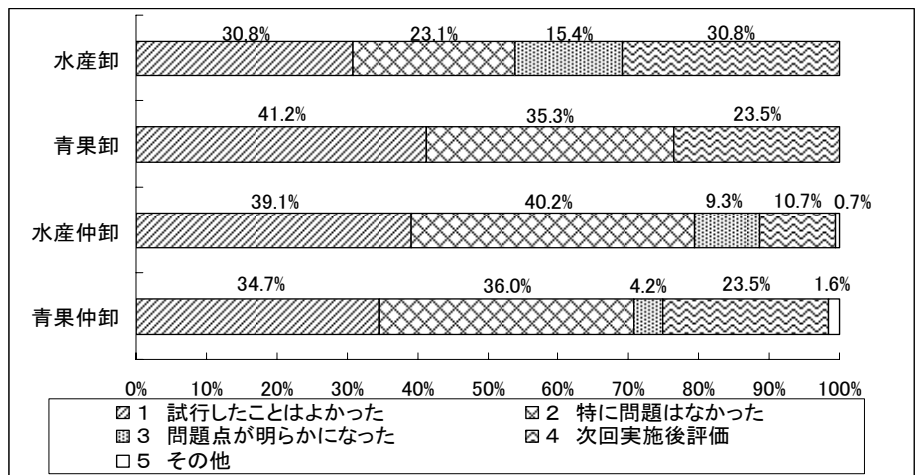
(1) 営業面での評価(卸売業者・仲卸業者)

●営業面の評価【複数回答可】

	1 試行したことはよかった	2 特に問題はなかった	3 問題点が明らかになった	4 次回実施後評価	5 その他	計
水産卸	4 30.8%	3 23.1%	2 15.4%	4 30.8%	0 0.0%	13 100.0%
青果卸	7 41.2%	6 35.3%	0 0.0%	4 23.5%	0 0.0%	17 100.0%
水産仲卸	180 39.1%	185 40.2%	43 9.3%	49 10.7%	3 0.7%	460 100.0%
青果仲卸	131 34.7%	136 36.0%	16 4.2%	89 23.5%	6 1.6%	378 100.0%

営業面での評価については、試行したことはよかったという回答が全ての業種で30%を超えている。

ただし、次回実施後に再評価するという回答も多く、水産卸では試行したことはよかったと同数である。



「3 問題点が明らかになった」の主な記述回答内容（カッコ内の数字は回答数）

【水産仲卸業者】回答数 42 件

- ・売上の減少 31% (13)
- ・価格の上昇 13% (5)
- ・営業日減（休みが多い） 12% (5)
- ・3月の実施に疑問 5% (2)
- ・休前日に時間に追われ忙しい 5% (2)
- ・休市日への誤解（毎週水曜は休み） 5% (2)

【青果仲卸業者】回答数 18 件

- ・売上減となった 44% (8)
- ・2日分の商品の確保難 17% (3)
- ・鮮度重視の品物が出荷される時期の休市は、休日対応人員や保管施設確保の面から経費増となる 17% (3)
- ・単価高となる 11% (2)

「5 その他」の主な記述回答内容（カッコ内の数字は回答数）

【水産仲卸業者】回答数 2 件

- ・4週8休型で何の影響もなかった 50% (1)
- ・営業日数の減少は売上減少となる 50% (1)

【青果仲卸業者】回答数 5 件

- ・人材確保面等から土日連休の方がよい 40% (2)
- ・毎月または繁忙期での試行をしてから評価したい 40% (2)
- ・品質保持の観点から冬期限定とした方がよい 20% (1)

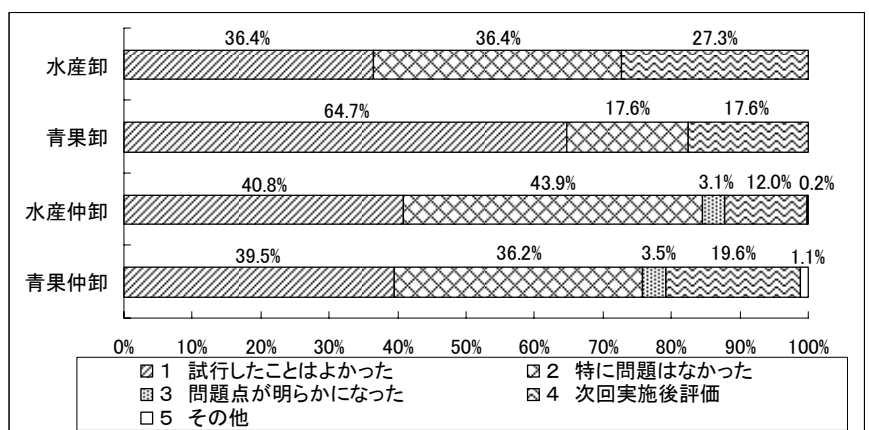
(2) 勤務面での評価（卸売業者・仲卸業者）

●勤務面の評価【複数回答可】

	1 試行したことはよかった	2 特に問題はなかった	3 問題点が明らかになった	4 次回実施後評価	5 その他	計
水産卸	4 36.4%	4 36.4%	0 0.0%	3 27.3%	0 0.0%	11 100.0%
青果卸	11 64.7%	3 17.6%	0 0.0%	3 17.6%	0 0.0%	17 100.0%
水産仲卸	183 40.8%	197 43.9%	14 3.1%	54 12.0%	1 0.2%	449 100.0%
青果仲卸	145 39.5%	133 36.2%	13 3.5%	72 19.6%	4 1.1%	367 100.0%

勤務面での評価については、試行してよかったという回答が30%を超えており、特に青果卸では60%を超えている。

ただし、次回実施後に再評価するという回答も各業種で20%前後あった。



「3 問題点が明らかになった」の主な記述回答内容（カッコ内の数字は回答数）

【水産仲卸業者】回答数 8 件

- ・ 1日あたりの労働時間が増え、疲労がたまる 25%(2)
- ・ 休日出勤が増え、不満が増す 25%(2)
- ・ 売上減少でも給料は減らせない 25%(2)
- ・ 週中に休みは勤労意欲がそがれるため、連休の検討が必要 13%(1)
- ・ 勤務状況の見直しが必要 13%(1)

【青果仲卸業者】回答数 9 件

- ・ 休市前後への業務集中により、疲労が拡大する 56%(5)
- ・ 連休でなければ完全休養にならず、人材確保も難しい 22%(2)

「5 その他」の主な記述回答内容（カッコ内の数字は回答数）

【水産仲卸業者】回答数 1 件

- ・ 毎月休日とすることを希望 100%(1)

【青果仲卸業者】回答数 2 件

- ・ 繁忙期での試行が必要 50%(1)
- ・ 年間での試行が必要 50%(1)

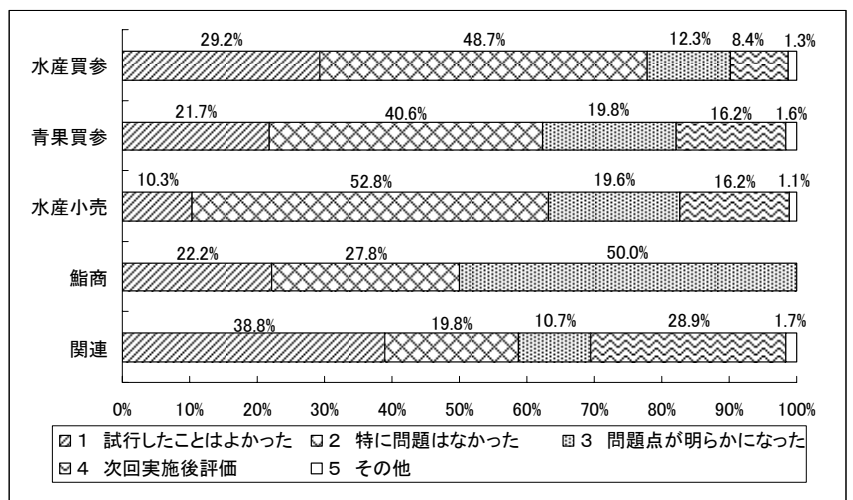
(3) 4週8休の評価（売買参加者・水産小売業者・鮭商・関連事業者）

●4週8休の評価【複数回答可】

	1 試行したことはよかった	2 特に問題はなかった	3 問題点が明らかになった	4 次回実施後評価	5 その他	計
水産買参	45 29.2%	75 48.7%	19 12.3%	13 8.4%	2 1.3%	154 100.0%
青果買参	468 21.7%	875 40.6%	426 19.8%	349 16.2%	35 1.6%	2,153 100.0%
水産小売	39 10.3%	199 52.8%	74 19.6%	61 16.2%	4 1.1%	377 100.0%
鮭商	4 22.2%	5 27.8%	9 50.0%	0 0.0%	0 0.0%	18 100.0%
関連	47 38.8%	24 19.8%	13 10.7%	35 28.9%	2 1.7%	121 100.0%

試行したことが良かったという回答は関連を除いて30%を下回っている。特に問題はなかったとする回答は、水産・青果買参、水産小売で高い。

鮭商についてのみ問題点が明らかになったとする回答が50%あり、そのほかの業種でも10~20%あった。



「3 問題点が明らかになった」の主な記述回答内容（カッコ内の数字は回答数）

【水産売買参加者】回答数 19 件

- ・ 営業日数減に伴い売上げも減少 31%(6)
- ・ 鮮度劣化、口スの増加 21%(4)

- ・お客様から休日が多すぎるとの苦情があった 11%(2)
 - ・水曜日だけでなく土曜日も入れて欲しい 11%(2)
- 【青果売買参加者】回答数 379 件
- ・品物の調達が難しい 21%(105)
 - ・価格が上がる 20%(76)
 - ・鮮度が落ちる 14%(53)
 - ・売り上げが減った 7%(26)
 - ・客が減った 5%(20)
 - ・保管場所の確保が難しい 5%(19)
 - ・土曜休みのほうがよい 4%(14)
 - ・休市が多すぎる 2%(8)
 - ・休市の宣伝不足 2%(8)
 - ・休市日分の売り上げを他の日で補填できない 1%(4)
- 【水産小売業者】回答数 65 件
- ・営業日数が減ると売上減となる 17%(11)
 - ・鮮度・衛生面に問題がある 17%(11)
 - ・仕入れ量に過不足が生じる 15%(10)
 - ・休みが多すぎる 15%(10)
 - ・休市前は品薄感が強く高値になる 12%(8)
 - ・消費者が買い控える 6%(4)
 - ・営業（納品等・ニーズ）に影響がある 6%(4)
 - ・3月は時化が続いたので評価できない 2%(1)
- 【鮭商】回答数 8 件
- ・鮮度の良い商品を消費者に提供できない 38%(3)
 - ・荷が揃わない 25%(2)
- 【関連事業者】回答数 11 件
- ・休市増は来客数減少になり、売上減につながる 82%(9)
 - ・生鮮品全体の消費が減る 9%(1)
- 「5 その他」の主な記述回答内容（カッコ内の数字は回答数）
- 【水産売買参加者】回答数 2 件
- ・6月は鮮度の問題がある 50%(1)
 - ・まったく評価しない 50%(1)
- 【青果売買参加者】回答数 25 件
- ・否定的意見 44%(11)
 - ・試行の時期が悪い 28%(7)
 - ・どちらでもない 20%(5)
 - ・肯定的意見 4%(1)
 - ・6月のアンケート希望 4%(1)
- 【水産小売業者】回答数 3 件
- ・3、6月は売上減傾向の月。秋に試行しないとわからない 33%(1)
 - ・休市日を減らして欲しい 33%(1)

【関連事業者】回答数 2 件

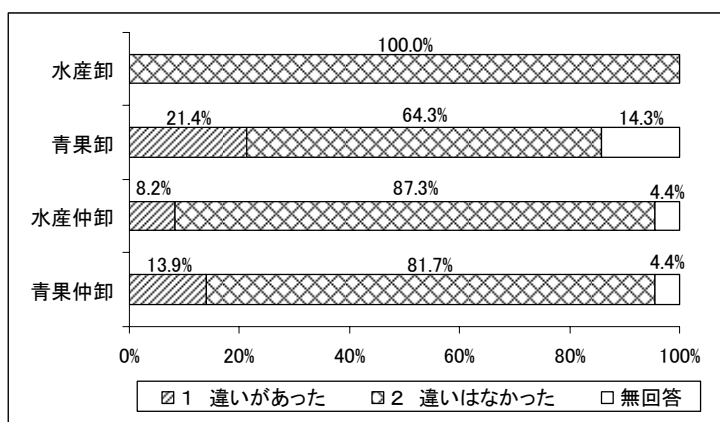
- ・年間を通して実施していない 50%(1)
- ・やらない方がよい 50%(1)

6 勤務状況について（卸売業者・仲卸業者）

●勤務状況の違いについて

	1 違いがあった	2 違いはなかった	無回答	計
水産卸	0 0.0%	9 100.0%	0 0.0%	9 100.0%
青果卸	3 21.4%	9 64.3%	2 14.3%	14 100.0%
水産仲卸	37 8.2%	393 87.3%	20 4.4%	450 100.0%
青果仲卸	47 13.9%	276 81.7%	15 4.4%	338 100.0%

勤務状況については、ほとんどの回答が、違いが無かったとしている。



「1 違いがあった」の中で、内容の記述があったもの（カッコ内の数字は回答数）

【水産仲卸業者】回答数 36 件

- ・体が休まり、体力的に良い 22%(8)
- ・業務にメリハリがでた 11%(4)
- ・休市日でも出勤している 14%(5)
- ・活気がでた 11%(4)

【青果仲卸業者】回答数 39 件

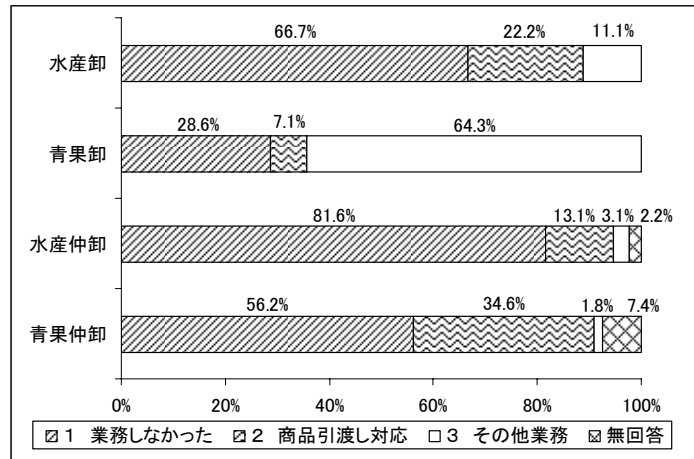
- ・休日対応者以外の休日増 31%(12)
- ・リフレッシュによる仕事能率の向上 21%(8)
- ・早出・残業の増 18%(7)
- ・休日出勤人数の増 15%(6)

7 - 1 休市日の業務について（卸売業者・仲卸業者）

(1)●休市日の業務について

	1 業務しなかった	2 商品引渡し対応	3 その他業務	無回答	計
水産卸	6 66.7%	2 22.2%	1 11.1%	0 0.0%	9 100.0%
青果卸	4 28.6%	1 7.1%	9 64.3%	0 0.0%	14 100.0%
水産仲卸	367 81.6%	59 13.1%	14 3.1%	10 2.2%	450 100.0%
青果仲卸	190 56.2%	117 34.6%	6 1.8%	25 7.4%	338 100.0%

休市日の業務については、業務しなかったとする回答が、青果卸を除いて50%～80%になっている。商品の引渡しについては、各業種とも実施しており、青果仲卸が34.6%、水産卸が22.2%であった。



「3 その他業務」の主な記述回答内容（カッコ内の数字は回答数）

【青果卸売業者】回答数9件

- ・量販店等・外食産業への納品 22%(2)
- ・予約相対取引等通常取引 11%(1)
- ・休市入荷対応(いちご) 11%(1)
- ・荷受業務 11%(1)
- ・受注、発注、出荷業務 11%(1)
- ・分荷業務 11%(1)
- ・産地への出荷要請と買人への販売要請 11%(1)
- ・翌日の用意 11%(1)

【水産仲卸業者】(完全休業・販売先への引渡し以外) 回答数12件

- ・帳簿の記帳 33%(4)
- ・得意先訪問 25%(3)
- ・顧客への注文取り 17%(2)

【青果仲卸業者】(完全休業・販売先への引渡し以外) 回答数4件

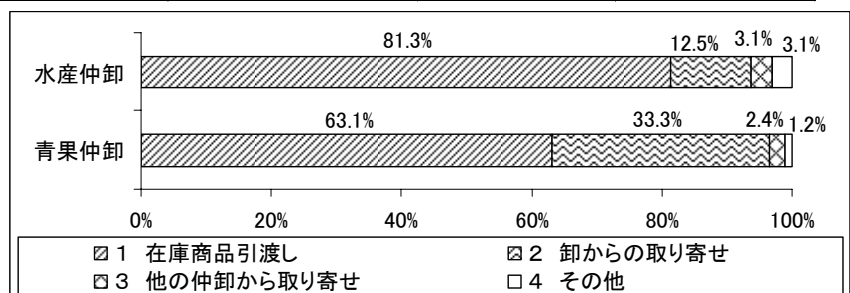
- ・直荷対応 75%(3)
- ・卸売業者等への発注業務 25%(1)

(2) 商品引渡しについて(仲卸業者)

●前質問で2と回答した者【複数回答可】

	1 在庫商品引渡し	2 卸からの取り寄せ	3 他の仲卸から取り寄せ	4 その他	計
水産仲卸	52 81.3%	8 12.5%	2 3.1%	2 3.1%	64 100.0%
青果仲卸	106 63.1%	56 33.3%	4 2.4%	2 1.2%	168 100.0%

休市日の商品を引き渡した場合の対応方法については、在庫商品により対応したとする回答が水産仲卸で81.3%、青果仲卸で63.1%を占めている。



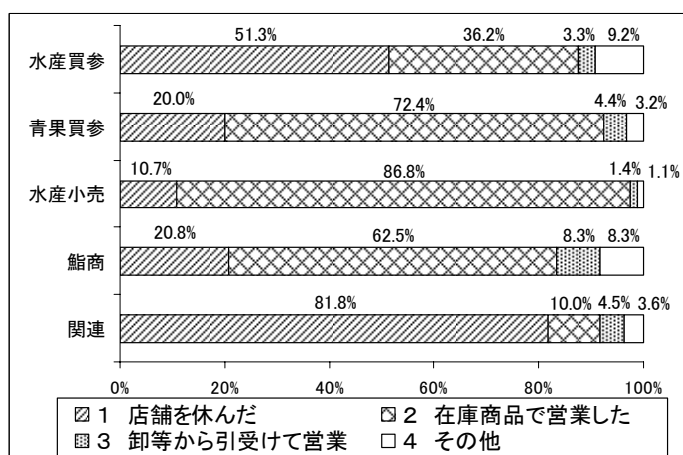
7 - 2 休市日の業務について（売買参加者・水産小売業者・鮪商・関連事業者）

●営業状況【複数回答可】

	1 店舗を休んだ	2 在庫商品で営業した	3 卸等から引受けて営業	4 その他	計
水産買参	78 51.3%	55 36.2%	5 3.3%	14 9.2%	152 100.0%
青果買参	407 20.0%	1,476 72.4%	90 4.4%	65 3.2%	2,038 100.0%
水産小売	39 10.7%	316 86.8%	5 1.4%	4 1.1%	364 100.0%
鮪商	5 20.8%	15 62.5%	2 8.3%	2 8.3%	24 100.0%
関連	90 81.8%	11 10.0%	5 4.5%	4 3.6%	110 100.0%

店舗を休んだ関連事業者が最も多く81.8%、続いて水産買参の51.3%となっている。

営業した場合は、在庫商品での営業が多く、水産小売で86.8%、青果買参で72.4%、鮪商で62.5%であった。

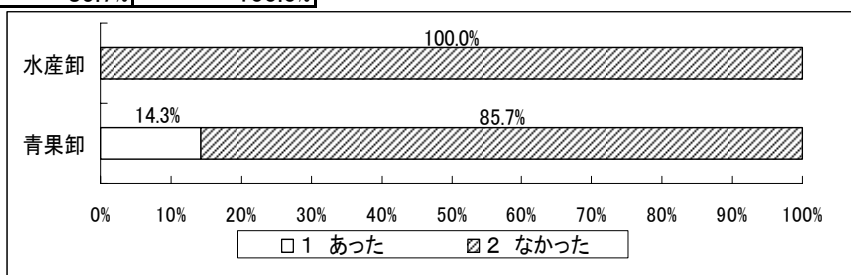


8 休市日に係る産地からの要望や要請（卸売業者）

●休市日に係る要望や要請

	1 あった	2 なかった	計
水産卸	0 0.0%	9 100.0%	9 100.0%
青果卸	2 14.3%	12 85.7%	14 100.0%

4週8休試行時の産地からの卸売業者への要望や要請は、青果卸で14.3%あったのみで、他は無かった。



9 4週8休型休市日試行に関する意見欄（自由意見欄）

自由意見欄に記入があったもののうち、業種別の主な回答は次のとおりであった。仲卸・水産買参で肯定的意見が多く、青果買参・水産小売・関連で否定的意見が多い。なお、カッコ内の数値は回答数を表す。

【水産仲卸業者】回答数 163 件

肯定的意見 58% (95)

否定的意見 19% (30)

その他意見 23%(38)

- <1> 肯定的意見の内容
- | | |
|------------------------|---------|
| 4週8休型賛成。進めて欲しい。 | 24%(39) |
| 土曜休みで連休希望 | 7%(11) |
| 人員確保のためにも民間一般並みの4週8休希望 | 7%(11) |
| メリハリをつけるため | 5%(8) |
| 毎週水曜休市希望 | 5%(8) |
| 続けて実施することを希望 | 4%(7) |
| 水曜休市が定着しているため | 4%(7) |
| 商売に影響がないため | 2%(3) |
| 水曜休市は賛成だが、連休には反対 | 1%(1) |
- <2> 否定的意見の内容
- | | |
|----------------------------|-------|
| 休みが多すぎる | 2%(3) |
| 増やさないほうがいい | 2%(3) |
| 今より休市を減らしてほしい | 1%(2) |
| 祝日開市の実施を希望する | 1%(2) |
| 現状維持を希望する | 1%(2) |
| 販売先が営業しているので、休みは各仲卸に任せるべき。 | |
| 肉体的には楽だが、売上減となる | 1%(1) |
- <3> その他意見の内容
- | | |
|-----------------------------|-------|
| 休市の実施日は2月、8月がよかった | 1%(2) |
| 水曜休市にこだわらず、月に一度土曜休市を検討して欲しい | 1%(1) |
| 時化のときは、水曜が休みだと高値になる | 1%(1) |

【青果仲卸業者】回答数 132 件

肯定的意見 90%(119)

否定的意見 8%(11)

その他意見 2%(2)

- <1> 肯定的意見の内容
- | | |
|-----------------------|---------|
| 完全週休二日制導入を望む | 25%(33) |
| 従業員の定着と人材確保が図られる | 14%(19) |
| 休日は多い方が良い | 11%(15) |
| 繁忙期は避け、冬場は毎週実施して欲しい | 7%(9) |
| 休市前後に活気が増し、メリハリがあってよい | 6%(8) |
| 連休を設定して欲しい | 6%(8) |
| 仕事の能率が上がる | 5%(7) |
| 水曜休市にこだわることはない | 5%(7) |
| 営業日減は売上高減に直結しないと思う | 3%(4) |
| 他の月も試行してみて評価したい | 3%(4) |
- <2> 否定的意見の内容
- | | |
|----------------------|-------|
| 休市が多いと得意先に迷惑がかかる | 2%(3) |
| 休市増は時代に逆行。小売が益々小さくなる | 2%(2) |

休みが多すぎるので反対	2 % (2)
相場の上下がなくなり、仲卸の評価機能がなくなる	1 % (1)
休市以外の日の人手とスペースが不足する	1 % (1)
営業日減は売上減につながる	1 % (1)
経費増につながる	1 % (1)
<3> その他意見の内容	
連休がある月での試行が必要	1 % (1)
休市に対する各仲卸の対応で営業に差が出る。	
休市増により競争激化になると思う	1 % (1)

【水産売買参加者】回答数 50 件

肯定的意見	60 % (30)
否定的意見	28 % (14)
その他意見	12 % (6)
<1> 肯定的意見の内容	
4週8休賛成、今後も実施してほしい	24 % (12)
土日連休にしてほしい	14 % (7)
水曜日は休市との認識があり売上げが少なく経費がかかる	12 % (6)
<2> 否定的意見の内容	
休市日をやめてもらいたい	12 % (6)
<3> その他意見の内容	
休んだり休まなかったりの休市はわかりにくい	2 % (1)

【青果売買参加者】回答数 544 件

肯定的意見	31 % (171)
否定的意見	59 % (320)
その他意見	10 % (53)
<1> 肯定的意見の内容	
4週8休（週休2日）賛成	13 % (70)
4週8休はよいが、土曜日休みが望ましい（連休が欲しい）	10 % (52)
従業員確保の面から休日は必要	4 % (20)
毎週水曜日を休みにして欲しい	3 % (18)
在庫管理がよくなった	1 % (5)
休みは多いほうがいい	1 % (3)
環境のためによい	1 % (3)
<2> 否定的意見の内容	
休みが多いのは困る、やめてほしい	19 % (101)
夏場はやめて欲しい	12 % (63)
休前日に物品不足が非常に多い	5 % (28)
平日休みはやめてほしい	5 % (28)
小売店には不利である	5 % (27)
鮮度が売りなので困る	5 % (26)

今までどおりでよい	3 % (17)
病院や学校などへの納品に問題が出る	3 % (16)
価格が不安定になる	2 % (12)

【水産小売業者】回答数 90 件

肯定的意見	21 % (19)
否定的意見	60 % (54)
その他意見	19 % (17)

<1> 肯定的意見の内容

毎週水曜休市の方がはっきりしていてよい	6 % (5)
特に問題ない	3 % (3)
試行に賛成	3 % (3)
仕方がない	2 % (2)
土曜日を休市にして欲しい	2 % (2)
同一週に祝日が無ければ毎週水曜は休市がよい	1 % (1)
休市が増えるのは嬉しい	1 % (1)
在庫商品の整理ができるし、身体も休めることができた	1 % (1)
木曜日休市はどうですか	1 % (1)

<2> 否定的意見の内容

休みが多すぎる	19 % (17)
鮮度保持に困る（生鮮物は鮮度が命）	9 % (8)
営業日数が減るとその分売上が減る	8 % (7)
消費者が買い控えるから	4 % (4)
休市前は価格が高くなるので反対	4 % (4)
以前の状態に戻して欲しい	3 % (3)
休市は日曜・祝日だけでよい	3 % (3)
品物が揃わない	2 % (2)
日曜以外は開市にして欲しい	2 % (2)
小売店のことを考えてほしい。大手スーパーは無休だ	2 % (2)
納品がやりづらい	1 % (1)

<3> その他意見の内容

試行期間を変えてやってみないとわからない	
（半年・1年・別の月）	3 % (3)
試行のPRが不足している	1 % (1)
休市前日の集荷は十分に行って欲しい	1 % (1)
月1回土曜日の休市も検討して欲しい	1 % (1)
休市を忘れてしまう	1 % (1)
客が休市に敏感になっている	1 % (1)

【鮭商】回答数 10 件

肯定的意見	30 % (3)
否定的意見	50 % (5)

- その他意見 20%(2)
- <1> 肯定的意見の内容
- 働きすぎなので休むべき 10%(1)
 - 関西寿司なので影響は少ない 10%(1)
 - 土曜日を定休にして欲しい 10%(1)
- <2> 否定的意見の内容
- 鮮度が落ちる 20%(2)
 - 小売業は年中無休 20%(2)
 - 休市は減らすべき 10%(1)
- <3> その他意見の内容
- 3月に試行を実施したことに反対 10%(1)
 - アンケートをする理由がわからない 10%(1)

【関連事業者】回答数 30 件

- 肯定的意見 30%(9)
- 否定的意見 43%(13)
- その他意見 27%(8)
- <1> 肯定的意見の内容
- 休市増は仕方が無い 7%(2)
 - 良いと思う 7%(2)
 - 水曜日は来客数が少ないので賛成 3%(1)
 - 市場勤務者のため休市増は賛成 3%(1)
 - 4週8休型で月1回は土曜にして欲しい 3%(1)
 - 経費節約のため1・2・8月を4週8休型にしてほしい 3%(1)
 - 大部分の店舗はこの形を支持するのでは 3%(1)
- <2> 否定的意見の内容
- 休みすぎ 23%(7)
 - 生鮮品を扱うので休むべきではない 7%(2)
 - 売上減になるので反対 7%(2)
 - 暦どおりでよい 3%(1)
 - 日・祭日以外の休みは月2日以下にしてほしい 3%(1)
- <3> その他意見の内容
- 良いともいえないし、悪いともいえない 7%(2)
 - 休市日を統一すべきである 7%(2)
 - 年間の休市日はほぼ同じなので、実質増えた上で評価したい 3%(1)
 - 客が休市日に定休日を合わせている 3%(1)
 - 水曜が月末の時には他の曜日に振り替えて 3%(1)
 - 6月の実施状況を見て決めたい 3%(1)

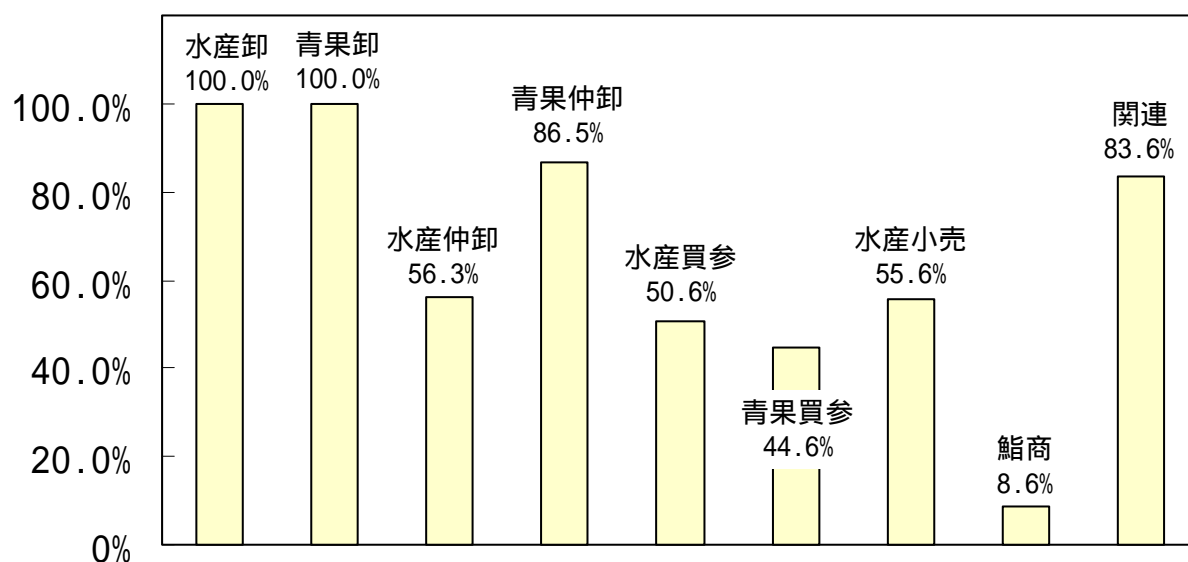
平成20年6月 4週8休型休市日試行に関するアンケート調査集計結果

1 アンケート回収状況

	水産卸	青果卸	水産仲卸	青果仲卸	水産買参	青果買参	水産小売	鮭商	関連	合計
回収数	12	15	506	326	179	2,301	551	133	153	4,176
対象者数	12	15	898	377	354	5,161	991	1,550	183	9,541
回収率	100.0%	100.0%	56.3%	86.5%	50.6%	44.6%	55.6%	8.6%	83.6%	43.8%

各業種別のアンケート回収率は、全体で43.8%、回収率の最も低かった鮭商を除いた回収率は、50.6%であった。

アンケート回収率



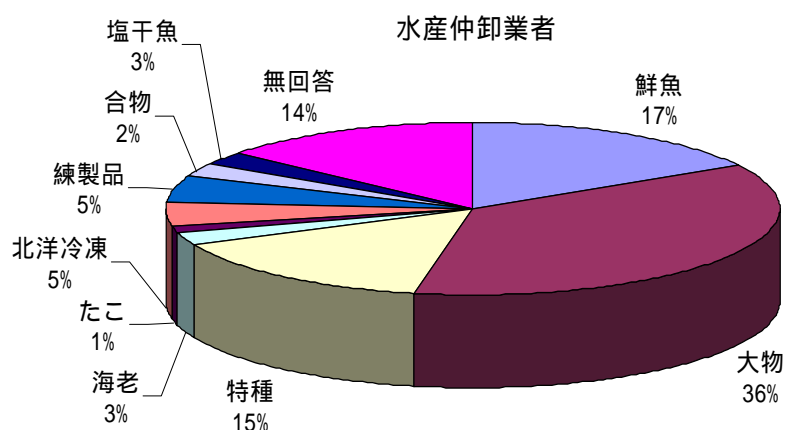
2 業種別割合

(1) 仲卸業者

水産仲卸業者

区分	鮮魚	大物	特種	海老	たこ	北洋冷凍	練製品	合物	塩干魚	無回答	合計
回答数	73	158	66	11	4	20	22	10	12	60	436
回答率	16.7%	36.2%	15.1%	2.5%	0.9%	4.6%	5.0%	2.3%	2.8%	13.8%	100.0%

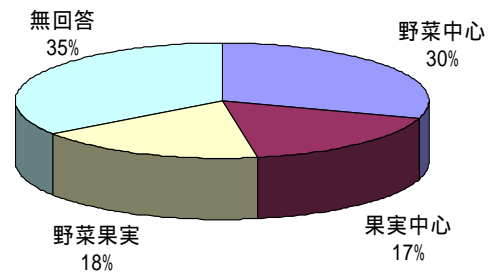
主な取扱種別は、鮮魚と大物で全体の5割を超えており、特殊を除く取扱種別は5%以下となっている。



青果仲卸業者

区分	野菜中心	果実中心	野菜果実	無回答	合計
回答数	98	56	59	113	326
回答率	30.1%	17.2%	18.1%	34.7%	100.0%

青果仲卸業者



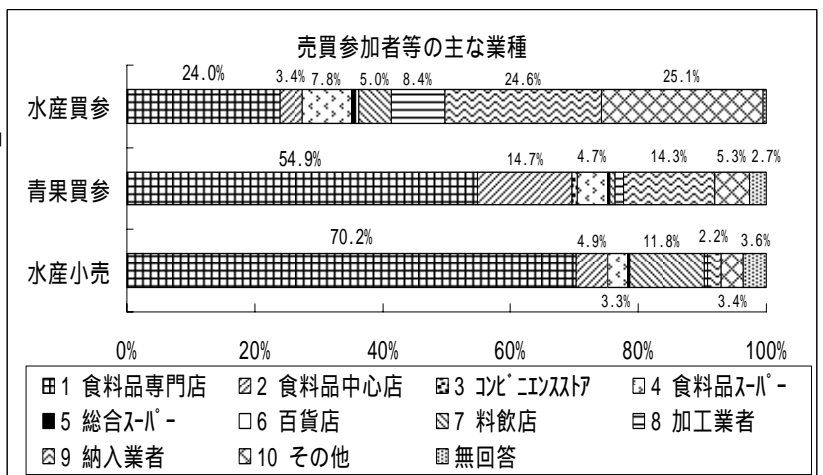
主な取扱種別は、野菜中心が最も多い。
約5割の仲卸業者業者が専門性を持った
商品取り扱いをしていると考えられる。

(2) 売買参加者及び水産小売業者

	区分	1 食料品	2 食料品	3 コンビニ	4 食料品	5 総合	6 百貨店	7 料飲店	8 加工	9 納入	10 その他	無回答	合計
		専門店	中心店	ストア	スーパー	スーパー			業者	業者			
水産買参	回答数	43	6	0	14	1	1	9	15	44	45	1	179
	回答率	24.0%	3.4%	0.0%	7.8%	0.6%	0.6%	5.0%	8.4%	24.6%	25.1%	0.6%	100.0%
青果買参	回答数	1,263	338	19	109	9	1	17	31	330	123	61	2,301
	回答率	54.9%	14.7%	0.8%	4.7%	0.4%	0.0%	0.7%	1.3%	14.3%	5.3%	2.7%	100.0%
水産小売	回答数	387	27	0	18	1	0	65	2	12	19	20	551
	回答率	70.2%	4.9%	0.0%	3.3%	0.2%	0.0%	11.8%	0.4%	2.2%	3.4%	3.6%	100.0%

主な業種は、水産買参で「納入業者」が24.6%、青果買参と水産小売で「食料品専門店」が5割以上を占めている。

次いで多い業種は、水産買参で納入業者が24%、青果買参で食料品中心店が14.7%、水産小売で料飲店が11.8%となっている。



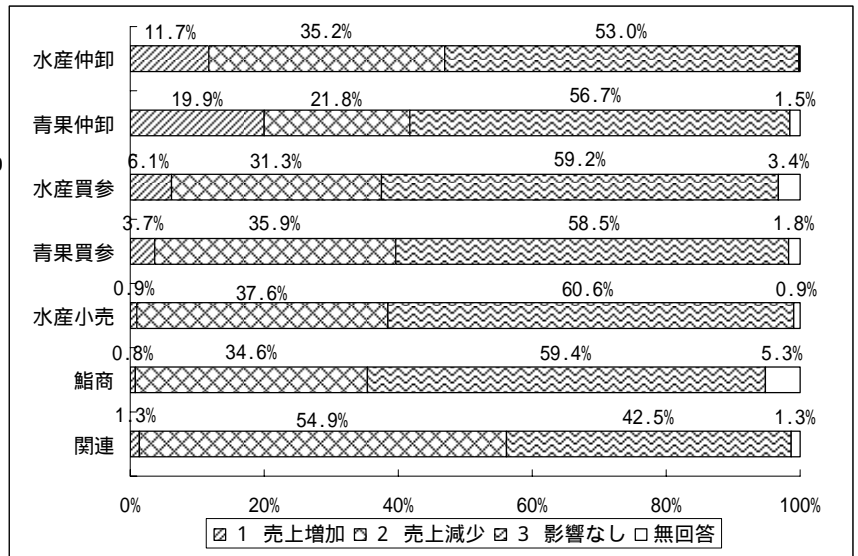
3 売上への影響について (仲卸業者・売買参加者・水産小売業者・鮭商・関連事業者)

● 売上への影響について

	1 売上増加	2 売上減少	3 影響なし	無回答	計
水産仲卸	59 11.7%	178 35.2%	268 53.0%	1 0.2%	506 100.0%
青果仲卸	65 19.9%	71 21.8%	185 56.7%	5 1.5%	326 100.0%
水産買参	11 6.1%	56 31.3%	106 59.2%	6 3.4%	179 100.0%
青果買参	86 3.7%	826 35.9%	1,347 58.5%	42 1.8%	2,301 100.0%
水産小売	5 0.9%	207 37.6%	334 60.6%	5 0.9%	551 100.0%
鮭商	1 0.8%	46 34.6%	79 59.4%	7 5.3%	133 100.0%
関連	2 1.3%	84 54.9%	65 42.5%	2 1.3%	153 100.0%

売上への影響については影響なしと回答したものが50%を超えている。

売上減少は関連で54.9%であった。



●売上増加要因

	1 商品取引が活発	2 相場が安定し、安値回避	3 2日分得多めに注文	4 無駄な仕入れが減った	5 営業努力等に力を入れた	6 その他	無回答	計
水産仲卸	49 83.1%	0 0.0%	7 11.9%	3 5.1%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	59 100.0%
青果仲卸	46 70.8%	4 6.2%	8 12.3%	1 1.5%	0 0.0%	5 7.7%	1 1.5%	65 100.0%
水産買参	9 81.8%	0 0.0%	0 0.0%	1 9.1%	0 0.0%	1 9.1%	0 0.0%	11 100.0%
青果買参	48 55.8%	0 0.0%	11 12.8%	19 22.1%	0 0.0%	2 2.3%	6 7.0%	86 100.0%
水産小売	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	3 60.0%	0 0.0%	1 20.0%	1 20.0%	5 100.0%
鮭商	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 100.0%
関連	2 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	2 100.0%

売上増の要因は、「商品取引が活発」と回答したものが、仲卸・買参・関連で5割を超えた。

水産小売・鮭商については「無駄な仕入れが減った」と回答したものが6割を超えた。

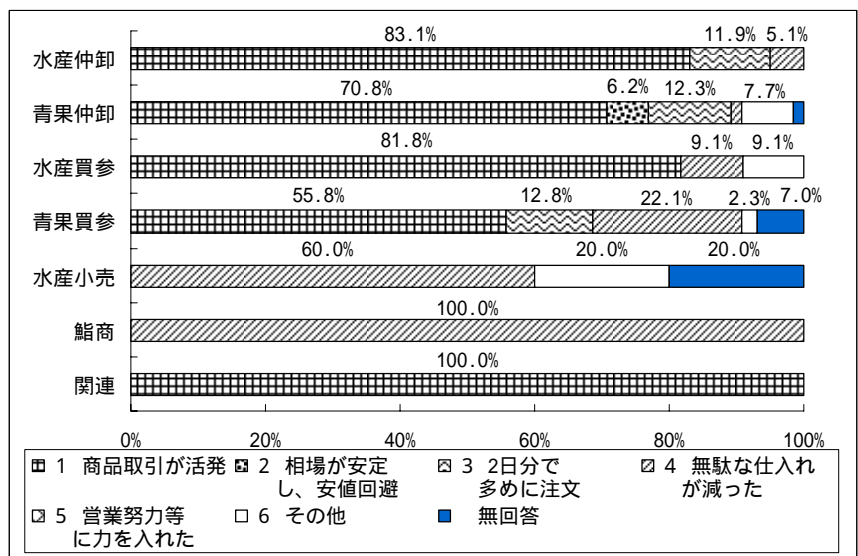
「6 その他」の主な記述内容

【青果仲卸業者】回答数5件

- ・昨年より相場が高め 60% (3件)
- ・輸入野菜の減少により国産野菜の相場が高い 20% (1件)

【水産小売業者】回答数1件

- ・今年は6月の日曜日が1日多かったため 100% (1件)

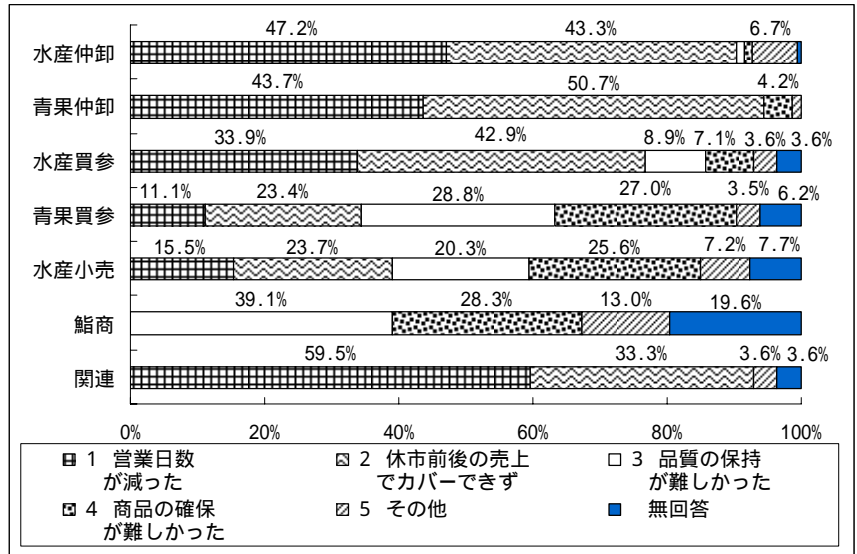


●売上減少要因

	1 営業日数が減った	2 休市前後の売上でカバーできず	3 品質の保持が難しかった	4 商品の確保が難しかった	5 その他	無回答	計
水産仲卸	84 47.2%	77 43.3%	2 1.1%	2 1.1%	12 6.7%	1 0.6%	178 100.0%
青果仲卸	31 43.7%	36 50.7%	0 0.0%	3 4.2%	1 1.4%	0 0.0%	71 100.0%
水産買参	19 33.9%	24 42.9%	5 8.9%	4 7.1%	2 3.6%	2 3.6%	56 100.0%
青果買参	92 11.1%	193 23.4%	238 28.8%	223 27.0%	29 3.5%	51 6.2%	826 100.0%
水産小売	32 15.5%	49 23.7%	42 20.3%	53 25.6%	15 7.2%	16 7.7%	207 100.0%
鮭商	0 0.0%	0 0.0%	18 39.1%	13 28.3%	6 13.0%	9 19.6%	46 100.0%
関連	50 59.5%	28 33.3%	0 0.0%	0 0.0%	3 3.6%	3 3.6%	84 100.0%

売上減の要因は、「営業日数が減った」、「休市前後の売上でカバーできず」と回答したものが、仲卸・水産買参・関連で3割を超えた。

青果買参・水産小売については、各要因にばらつきがあった。鮭商については、「品質保持が難しかった」、「商品の確保が難しかった」を合算した回答が6割を超えた。



「5 その他」の主な記述内容

【水産仲卸業者】回答数 12 件

- ・天候不順、原油高等の周辺環境の悪化 25% (3件)
- ・景気悪化のため 17% (2件)
- ・選択肢全てが影響していると思われる 17% (2件)
- ・急激なマグロ価格の高騰 8% (1件)
- ・物価上昇による消費者の買い控え 8% (1件)
- ・対前年比で相場が下がった 8% (1件)

【水産小売業者】回答数 15 件

- ・休市日 (または水曜日) に客が買い控える 73% (11件)
- ・景気悪化のため 7% (1件)
- ・雨が多かった 7% (1件)

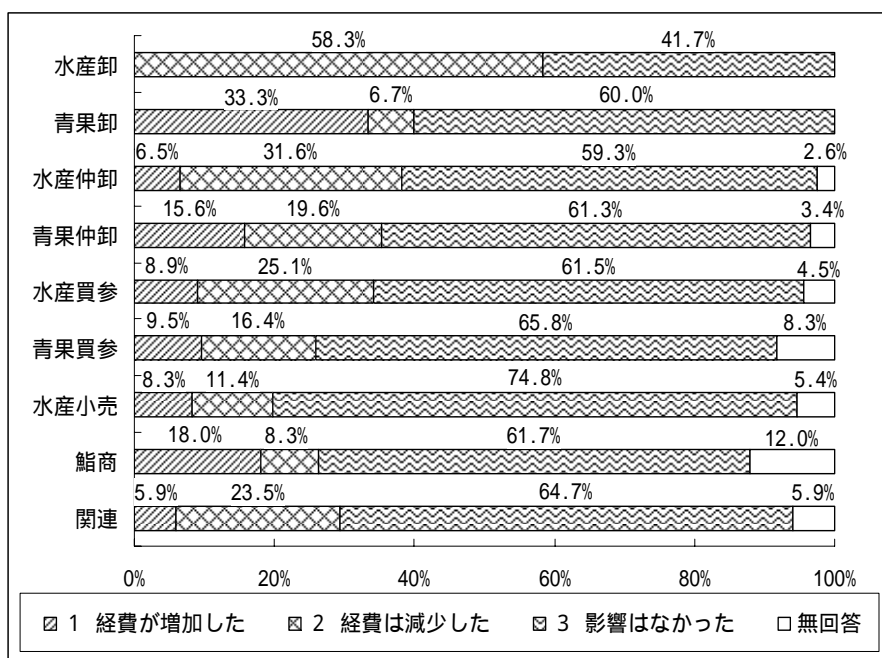
【鮭商】回答数 6 件

- ・休市日 (または水曜日) には客が減る 33% (2件)
- ・景気悪化のため 17% (1件)
- ・原油高、物価高で消費が鈍った 17% (1件)

4 経費への影響について

●経費への影響について

	1 経費が増加した	2 経費は減少した	3 影響はなかった	無回答	計
水産卸	0 0.0%	7 58.3%	5 41.7%	0 0.0%	12 100.0%
青果卸	5 33.3%	1 6.7%	9 60.0%	0 0.0%	15 100.0%
水産仲卸	33 6.5%	160 31.6%	300 59.3%	13 2.6%	506 100.0%
青果仲卸	51 15.6%	64 19.6%	200 61.3%	11 3.4%	326 100.0%
水産買参	16 8.9%	45 25.1%	110 61.5%	8 4.5%	179 100.0%
青果買参	219 9.5%	377 16.4%	1,513 65.8%	192 8.3%	2,301 100.0%
水産小売	46 8.3%	63 11.4%	412 74.8%	30 5.4%	551 100.0%
鮪商	24 18.0%	11 8.3%	82 61.7%	16 12.0%	133 100.0%
関連	9 5.9%	36 23.5%	99 64.7%	9 5.9%	153 100.0%



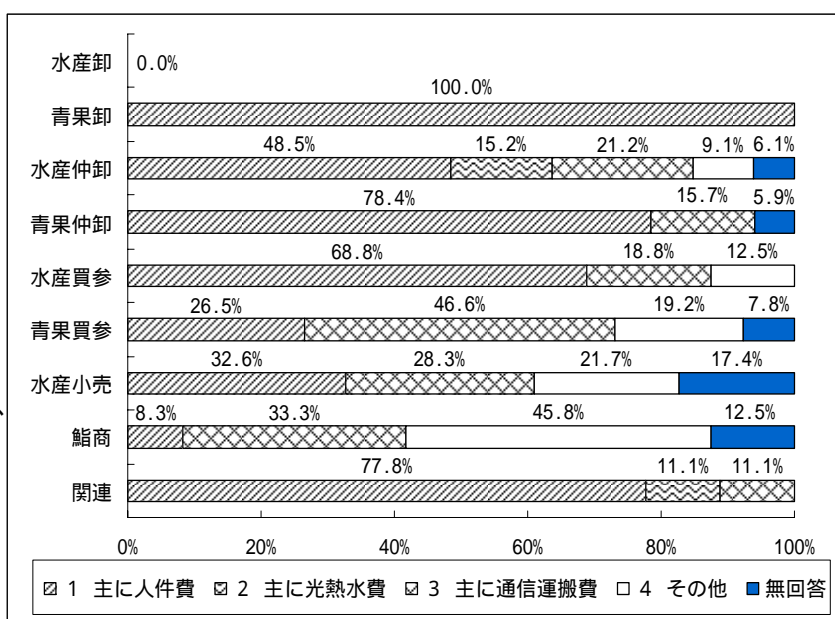
経費が増加したという回答が最も多かった業種は、青果卸で3割であった。その他の業種では、「経費は減少した」、「影響はなかった」を合算した回答が7割を超えた。特に水産卸については、経費増と回答したものはなかった。

●経費増加要因

	1 主に人件費	2 主に光熱水費	3 主に 通信運搬費	4 その他	無回答	計
水産卸	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
青果卸	5 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	5 100.0%
水産仲卸	16 48.5%	5 15.2%	7 21.2%	3 9.1%	2 6.1%	33 100.0%
青果仲卸	40 78.4%	0 0.0%	8 15.7%	0 0.0%	3 5.9%	51 100.0%
水産買参	11 68.8%	0 0.0%	3 18.8%	2 12.5%	0 0.0%	16 100.0%
青果買参	58 26.5%	0 0.0%	102 46.6%	42 19.2%	17 7.8%	219 100.0%
水産小売	15 32.6%	0 0.0%	13 28.3%	10 21.7%	8 17.4%	46 100.0%
鮭商	2 8.3%	0 0.0%	8 33.3%	11 45.8%	3 12.5%	24 100.0%
関連	7 77.8%	1 11.1%	1 11.1%	0 0.0%	0 0.0%	9 100.0%

経費増の要因は、青果卸・仲卸・水産買参・水産小売・関連で人件費の割合が最も高くなっており、水産仲卸・水産小売を除くと6割を超えている。

青果買参は通信運搬費の割合が最も高く、4割を超えている。鮭商については、「その他」の割合が最も高く、内容は休市に備えた過剰仕入としたものが多かった。



「4 その他」の主な記述内容

【水産売買参加者】回答数2件

- ・過剰仕入れによるロス 50% (1件)

【青果売買参加者】回答数42件

- ・休市対応で仕入れたものが売れ残った 29% (12件)
- ・相場の上昇 21% (9件)
- ・冷蔵庫等の保管料の増 14% (6件)
- ・足りない商品を他で仕入れた 7% (3件)

【水産小売業者】回答数10件

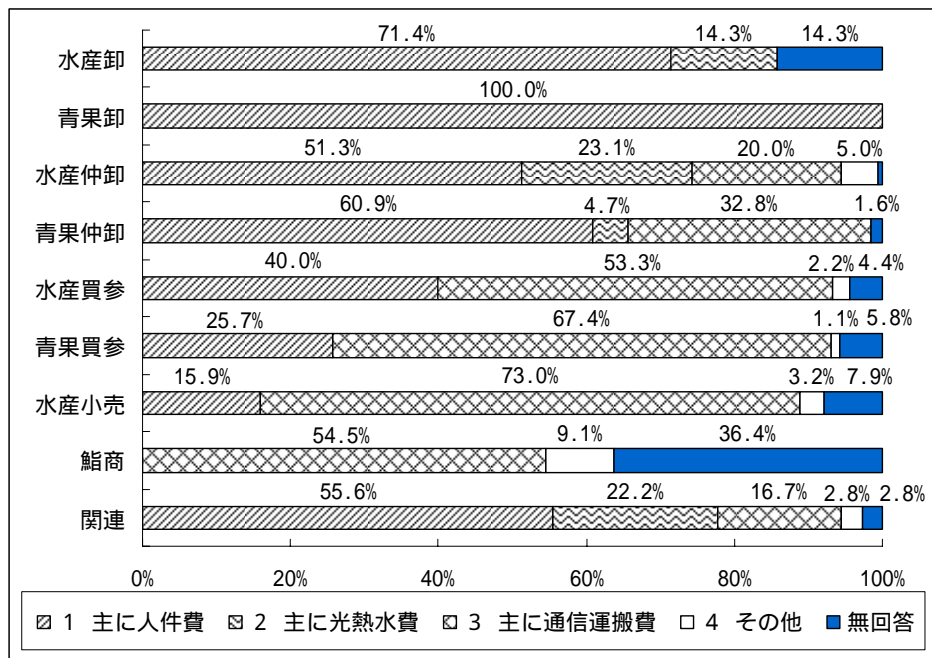
- ・品質の保持のため氷代が増加した 60% (6件)
- ・在庫の増加 20% (2件)

【鮭商】回答数11件

- ・過剰仕入れによるロス 36% (4件)
- ・相場の上昇 18% (2件)
- ・品質保持が難しい 9% (1件)

●経費減少要因

	1 主に人件費	2 主に光熱水費	3 主に 通信運搬費	4 その他	無回答	計
水産卸	5 71.4%	1 14.3%	0 0.0%	0 0.0%	1 14.3%	7 100.0%
青果卸	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 100.0%
水産仲卸	82 51.3%	37 23.1%	32 20.0%	8 5.0%	1 0.6%	160 100.0%
青果仲卸	39 60.9%	3 4.7%	21 32.8%	0 0.0%	1 1.6%	64 100.0%
水産買参	18 40.0%	0 0.0%	24 53.3%	1 2.2%	2 4.4%	45 100.0%
青果買参	97 25.7%	0 0.0%	254 67.4%	4 1.1%	22 5.8%	377 100.0%
水産小売	10 15.9%	0 0.0%	46 73.0%	2 3.2%	5 7.9%	63 100.0%
鮭商	0 0.0%	0 0.0%	6 54.5%	1 9.1%	4 36.4%	11 100.0%
関連	20 55.6%	8 22.2%	6 16.7%	1 2.8%	1 2.8%	36 100.0%

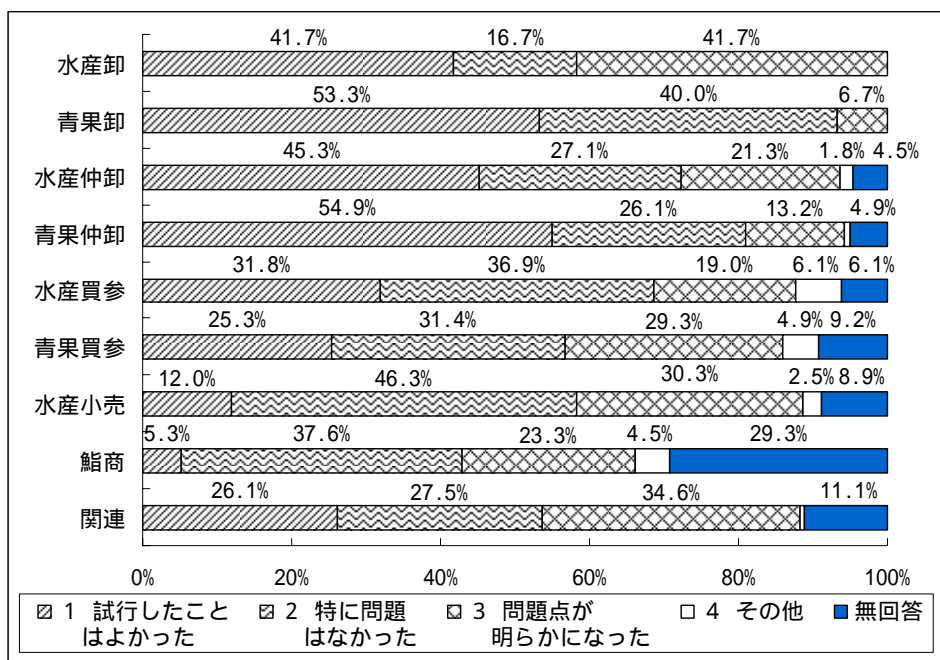


経費減の要因は、卸・仲卸・関連で人件費の割合が最も高くなっており、5割を超えている。買参・水産小売・鮭商では通信運搬費の割合が最も高く、5割を超えている。

5 4週8休試行への評価

●4週8休の評価

	1 試行した ことはよかった	2 特に問題 はなかった	3 問題点が 明らかになった	4 その他	無回答	計
水産卸	5 41.7%	2 16.7%	5 41.7%	0 0.0%	0 0.0%	12 100.0%
青果卸	8 53.3%	6 40.0%	1 6.7%	0 0.0%	0 0.0%	15 100.0%
水産仲卸	229 45.3%	137 27.1%	108 21.3%	9 1.8%	23 4.5%	506 100.0%
青果仲卸	179 54.9%	85 26.1%	43 13.2%	3 0.9%	16 4.9%	326 100.0%
水産買参	57 31.8%	66 36.9%	34 19.0%	11 6.1%	11 6.1%	179 100.0%
青果買参	582 25.3%	722 31.4%	674 29.3%	112 4.9%	211 9.2%	2,301 100.0%
水産小売	66 12.0%	255 46.3%	167 30.3%	14 2.5%	49 8.9%	551 100.0%
鮪商	7 5.3%	50 37.6%	31 23.3%	6 4.5%	39 29.3%	133 100.0%
関連	40 26.1%	42 27.5%	53 34.6%	1 0.7%	17 11.1%	153 100.0%



青果卸と仲卸は試行したことはよかったと回答した割合が最も多く、4割を超えている。水産卸については、「試行したことはよかった」と「問題点が明らかとなった」が同数であった。

関連は問題点が明らかとなったと回答した割合が最も多く、3割を超えている。

「4 その他」の主な記述内容

【水産売買参加者】回答数 11 件

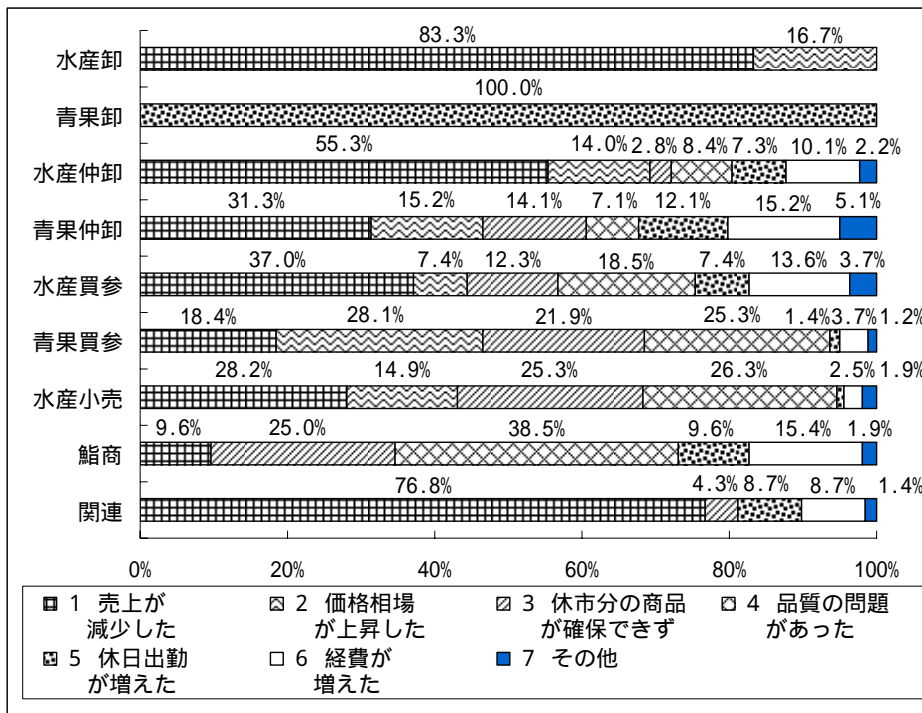
- ・ 7月以降水曜日も休市と思われ、売上が減少する心配がある 18% (2件)
- ・ 営業が悪化する 18% (2件)
- ・ 特に生鮮類の在庫調整が難しい 9% (1件)
- ・ 不便である 9% (1件)
- ・ やめるべき 9% (1件)

【青果売買参加者】回答数 112 件

- ・ 相場が上昇 8% (9件)
- ・ 鮮度劣化が生じる夏場は避けて欲しい 7% (8件)
- ・ 商品調達が大変 6% (7件)
- ・ 商品不足 5% (6件)
- ・ 土曜休市がよい 4% (5件)
- ・ 給食・会社食堂への納品が困難で疲れた 4% (4件)
- ・ やめるべき 4% (4件)
- ・ 鮮度保持のため休みは無い方がよい 3% (3件)
- ・ 営業が悪化する 2% (2件)
- ・ 客からの苦情が増えた 2% (2件)
- ・ 在庫保管スペースに問題あり 2% (2件)
- ・ 水曜休市は無い方がよい 2% (2件)
- ・ 仕事がやりにくい 2% (2件)
- ・ 過剰仕入れによるロス 1% (1件)
- ・ 7~8月、11~12月のギフトシーズンの8休型は望ましくない 1% (1件)
- ・ 5,8,12月の8休型は避けて欲しい 1% (1件)
- ・ 労働意欲が低下 1% (1件)
- ・ 客が減少 1% (1件)
- ・ 他の月でも試行が必要 1% (1件)
- ・ 4週6休型を希望 1% (1件)
- ・ 日、祝日以外の休市はない方がよい 1% (1件)
- ・ 冷蔵庫代が上昇 1% (1件)

●「3 問題点が明らかになった」と回答した内容

	1 売上が減少した	2 価格相場が上昇した	3 休市分の商品が確保できず	4 品質の問題があった	5 休日出勤が増えた	6 経費が増えた	7 その他	計
水産卸	5 83.3%	1 16.7%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	6 100.0%
青果卸	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 100.0%
水産仲卸	99 55.3%	25 14.0%	5 2.8%	15 8.4%	13 7.3%	18 10.1%	4 2.2%	179 100.0%
青果仲卸	31 31.3%	15 15.2%	14 14.1%	7 7.1%	12 12.1%	15 15.2%	5 5.1%	99 100.0%
水産買参	30 37.0%	6 7.4%	10 12.3%	15 18.5%	6 7.4%	11 13.6%	3 3.7%	81 100.0%
青果買参	325 18.4%	495 28.1%	385 21.9%	446 25.3%	24 1.4%	65 3.7%	22 1.2%	1,762 100.0%
水産小売	89 28.2%	47 14.9%	80 25.3%	83 26.3%	3 0.9%	8 2.5%	6 1.9%	316 100.0%
鮪商	5 9.6%	0 0.0%	13 25.0%	20 38.5%	5 9.6%	8 15.4%	1 1.9%	52 100.0%
関連	53 76.8%	0 0.0%	3 4.3%	0 0.0%	6 8.7%	6 8.7%	1 1.4%	69 100.0%



売上が減少したと回答した割合が最も多かった業種は水産卸・仲卸・水産買参・水産小売・関連であった。特に水産卸・関連では、7割を超えている。

青果買参では価格相場が上昇したと回答した割合が3割弱で最も多く、鮪商では品質の問題があったと回答した割合が4割弱で最も多かった。

「7 その他」の主な記述内容

【青果仲卸業者】回答数5件

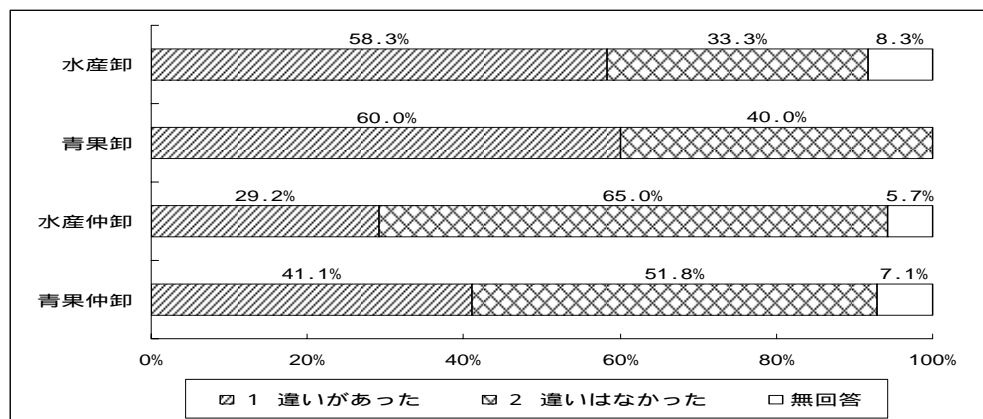
- ・夏場の試行は厳しい 40% (2件)
- ・休市前後に労力がかかる割りに売上が伸びない 20% (1件)
- ・火曜日が忙しすぎて疲労する 20% (1件)

6 勤務状況について（卸売業者・仲卸業者）

●勤務状況の違いについて

	1 違いがあった	2 違いはなかった	無回答	計
水産卸	7 58.3%	4 33.3%	1 8.3%	12 100.0%
青果卸	9 60.0%	6 40.0%	0 0.0%	15 100.0%
水産仲卸	148 29.2%	329 65.0%	29 5.7%	506 100.0%
青果仲卸	134 41.1%	169 51.8%	23 7.1%	326 100.0%

勤務状況の違いについては、卸では半数以上が違いがあったと回答した。仲卸では、半数以上が違いはなかったと回答した。



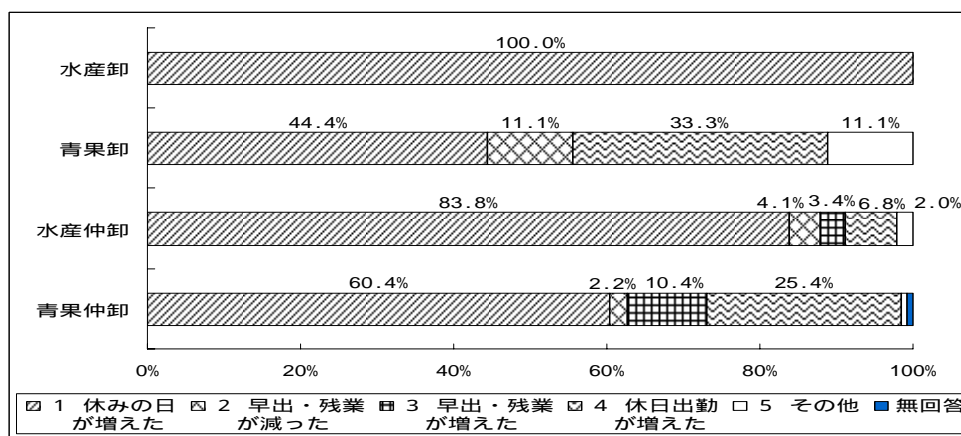
●「1 違いがあった」と回答した内容

	1 休みの日が増えた	2 早出・残業が減った	3 早出・残業が増えた	4 休日出勤が増えた	5 その他	無回答	計
水産卸	7 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	7 100.0%
青果卸	4 44.4%	1 11.1%	0 0.0%	3 33.3%	1 11.1%	0 0.0%	9 100.0%
水産仲卸	124 83.8%	6 4.1%	5 3.4%	10 6.8%	3 2.0%	0 0.0%	148 100.0%
青果仲卸	81 60.4%	3 2.2%	14 10.4%	34 25.4%	1 0.7%	1 0.7%	134 100.0%

勤務状況の違いの内容については、各業種ともに休みの日が増えたと回答した割合が最も多い。特に水産卸に関しては100%となっている。

また、青果卸・青果仲卸に関して

は、休日出勤が増えたと回答した割合も3割前後あった。



「5 その他」の主な記述内容

【青果卸売業者】回答数1件

・完全週休2日制となり、職員の仕事に対するメリハリが見られた 100%（1件）

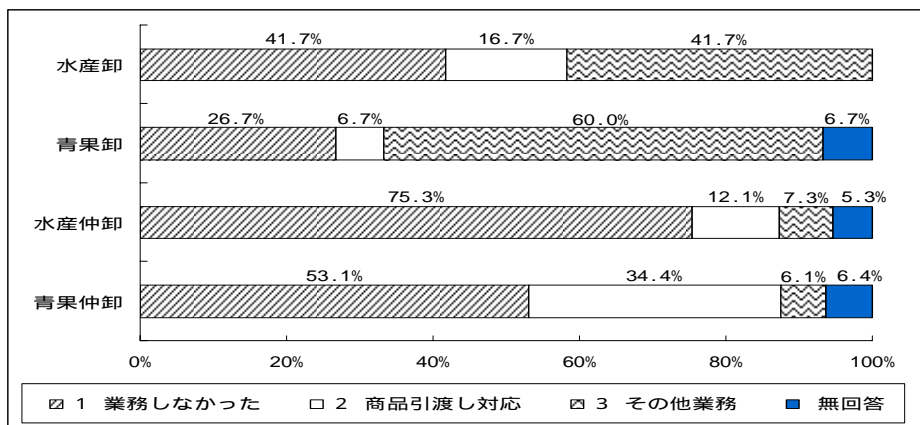
7 - 1 休市日の業務について (卸売業者・仲卸業者)

(1) 休市日の業務について

	1 業務 しなかった	2 商品 引渡し対応	3 その他業務	無回答	計
水産卸	5 41.7%	2 16.7%	5 41.7%	0 0.0%	12 100.0%
青果卸	4 26.7%	1 6.7%	9 60.0%	1 6.7%	15 100.0%
水産仲卸	381 75.3%	61 12.1%	37 7.3%	27 5.3%	506 100.0%
青果仲卸	173 53.1%	112 34.4%	20 6.1%	21 6.4%	326 100.0%

休市日の業務について、卸では何らかの業務を行った割合が6割前後あった。

仲卸では5割以上が業務しなかったと回答しており、特に水産仲卸業者では、7割以上が業務しなかったと回答した。

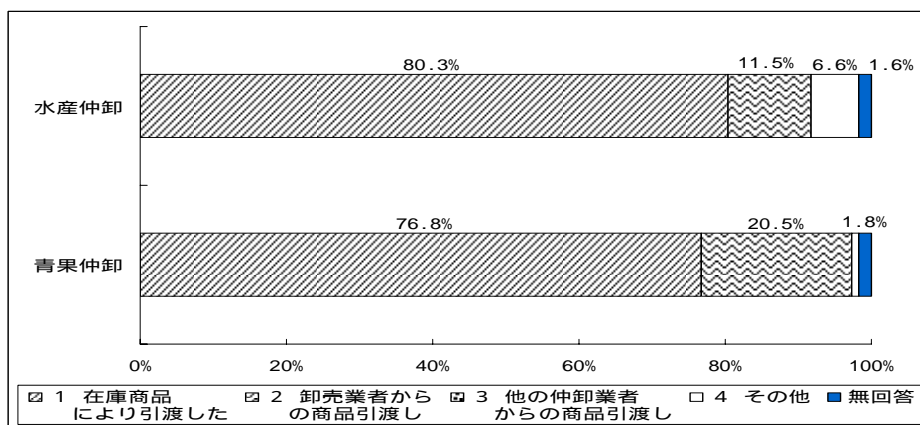


(2) (1)で「2 商品引渡し対応」と回答した内容

	1 在庫商品 により引渡し	2 卸売業者から の商品引渡し	3 他の仲卸業者 からの商品引渡し	4 その他	無回答	計
水産仲卸	49 80.3%	7 11.5%	0 0.0%	4 6.6%	1 1.6%	61 100.0%
青果仲卸	86 76.8%	23 20.5%	0 0.0%	1 0.9%	2 1.8%	112 100.0%

水産・青果ともに在庫商品により引き渡したとする回答が7～8割程度であった。

次いで、卸売業者からの商品引渡しにより対応したとする回答が1～2割程度あった。



「4 その他」の主な記述内容

【水産仲卸業者】回答数4件

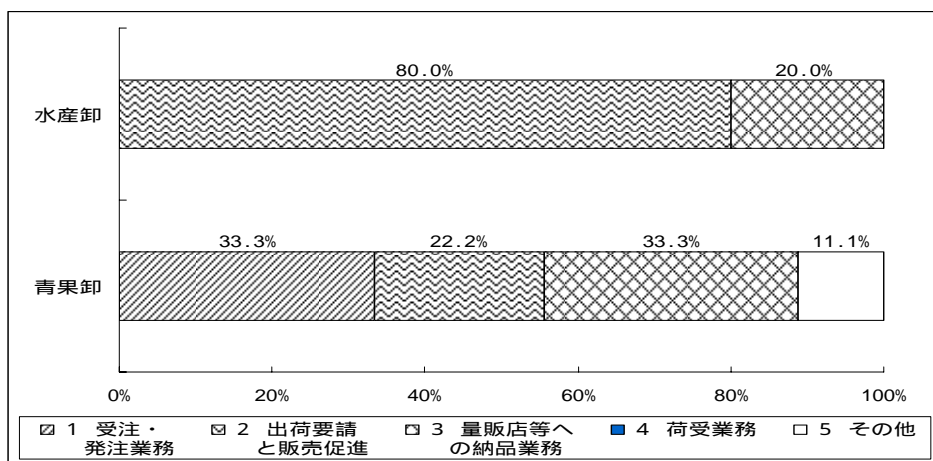
- ・場外から仕入れた 25% (1件)
- ・選択肢1～3全てで対応 25% (1件)

(3) (1)で「3 その他業務」と回答した内容

	1 受注・発注業務	2 出荷要請と販売促進	3 量販店等への納品業務	4 荷受業務	5 その他	計
水産卸	0 0.0%	4 80.0%	1 20.0%	0 0.0%	0 0.0%	5 100.0%
青果卸	3 33.3%	2 22.2%	3 33.3%	0 0.0%	1 11.1%	9 100.0%

水産卸については、出荷要請と販売促進と回答したものが8割であった。

青果卸については、ばらつきがある回答結果となっている。

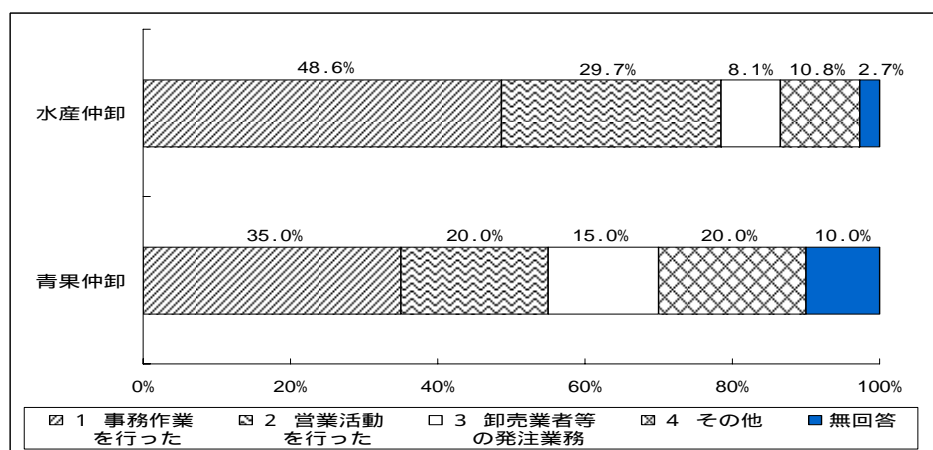


(4) (1)で「3 その他業務」と回答した内容

	1 事務作業を行った	2 営業活動を行った	3 卸売業者等の発注業務	4 その他	無回答	計
水産仲卸	18 48.6%	11 29.7%	3 8.1%	4 10.8%	1 2.7%	37 100.0%
青果仲卸	7 35.0%	4 20.0%	3 15.0%	4 20.0%	2 10.0%	20 100.0%

水産・青果ともに事務作業を行ったと回答した割合が最も多く、3～5割程度であった。

次いで営業活動を行ったと回答した割合が2～3割程度であった。



「4 その他」の主な記述内容

【水産仲卸業者】回答数4件

- ・設備点検 25% (1件)
- ・活魚水槽の水の入れ換え 25% (1件)

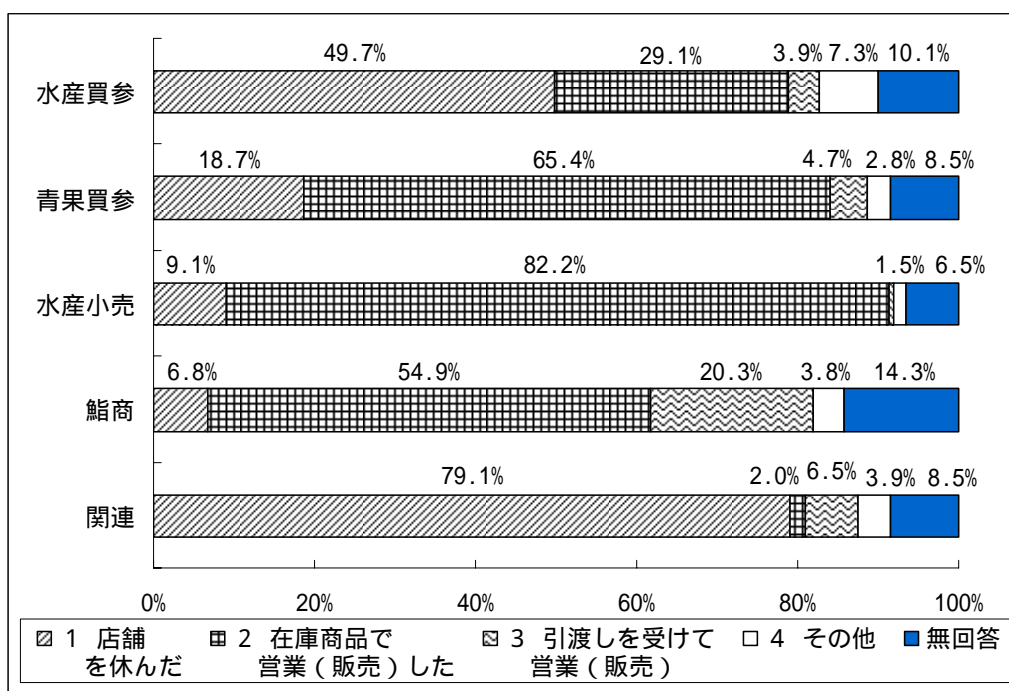
【青果仲卸業者】回答数4件

- ・納品業務 50% (2件)
- ・納品・分荷業務 25% (1件)
- ・電話対応 25% (1件)

7 - 2 休市日の業務について (売買参加者・水産小売業者・鮭商・関連事業者)

●休市日の業務について

	1 店舗 を休んだ	2 在庫商品で 営業(販売)した	3 引渡しを受 けて営業(販売)	4 その他	無回答	計
水産買参	89 49.7%	52 29.1%	7 3.9%	13 7.3%	18 10.1%	179 100.0%
青果買参	430 18.7%	1504 65.4%	107 4.7%	64 2.8%	196 8.5%	2301 100.0%
水産小売	50 9.1%	453 82.2%	4 0.7%	8 1.5%	36 6.5%	551 100.0%
鮭 商	9 6.8%	73 54.9%	27 20.3%	5 3.8%	19 14.3%	133 100.0%
関 連	121 79.1%	3 2.0%	10 6.5%	6 3.9%	13 8.5%	153 100.0%



在庫商品で営業したと回答した割合が最も多かった業種は、青果買参・水産小売・鮭商で5割以上であった。

店舗を休んだと回答した割合が最も多かった業種は、水産買参・関連で5～8割程度であった。

「4 その他」の主な記述内容

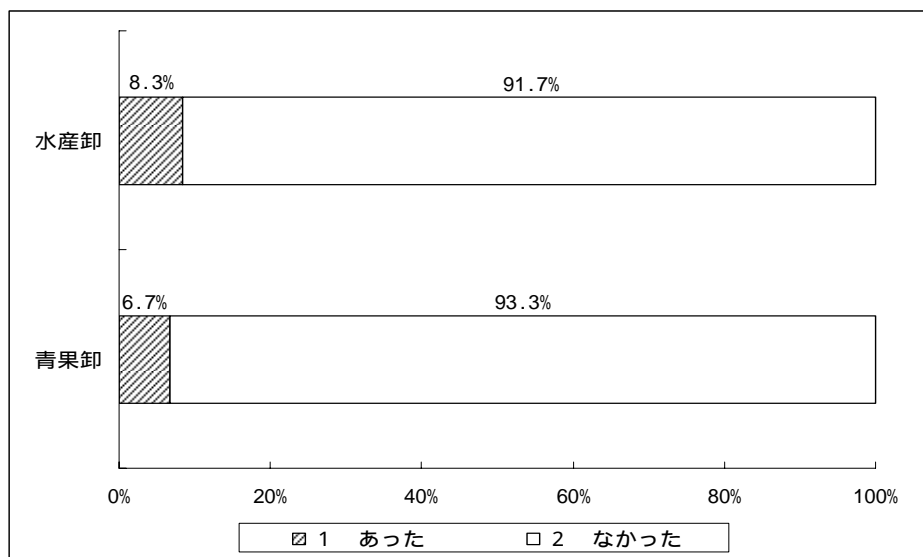
【水産売買参加者】回答数13件

- ・通常営業 15% (2件)
- ・水曜定休 15% (2件)
- ・休日は当番制出勤 8% (1件)
- ・商品調達 8% (1件)
- ・冷凍品、前日納品で対応 8% (1件)
- ・市場からの調達だけ休んだ 8% (1件)

8 休市日に係る産地からの要望や要請（卸売業者）

	1 あった	2 なかった	計
水産卸	1 8.3%	11 91.7%	12 100.0%
青果卸	1 6.7%	14 93.3%	15 100.0%

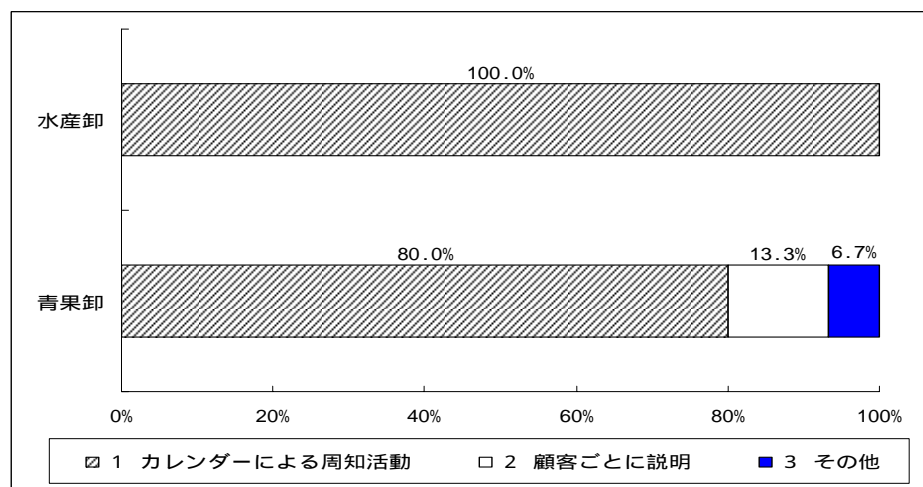
産地からの要望・要請は、水産・青果ともに9割以上がなかったと回答した。



9 産地等への周知活動（卸売業者）

	1 カレンダーによる周知活動	2 顧客ごとに説明	3 その他	計
水産卸	12 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	12 100.0%
青果卸	12 80.0%	2 13.3%	1 6.7%	15 100.0%

カレンダーによる周知活動が水産卸では100%、青果卸で80%であった。



「3 その他」の主な記述内容

【青果卸売業者】回答数1件

・ホームページ掲載による周知 100%（1件）

10 4週8休型休市日試行に関する意見欄（自由意見欄）

自由意見欄に記入があったもののうち、業種別の主な回答は次のとおりであった。
水産及び青果の仲卸業者、水産売買参加者では肯定的意見が半数以上で、青果売買参加者、水産小売業者、鮭商、関連事業者では否定的意見が半数以上あった。

なお、各業種の冒頭に記載した「 」印のカッコ内の数値は回答業者数を表す。また、各業種の<1>～<3>の各意見内容ごとに記載したカッコ内の数値は回答意見数を表す。1者が複数の意見を記載している場合があるので、回答業者数と回答意見数の合計値は一致しない場合がある。

【水産仲卸業者】回答数192件

肯定的意見 64% (122)
否定的意見 23% (44)
その他意見 14% (26)

<1> 肯定的意見の内容

4週8休賛成 54% (67)
人材確保・労働環境改善の観点から4週8休が必要 21% (26)
営業面から4週8休が必要 8% (10)
仕事にメリハリができた 6% (8)
4週8休賛成だが、土曜休日で連休の方がよい 6% (7)
4週8休賛成だが、水・土に分けたほうがよい 3% (4)
経費削減になった 3% (4)

<2> 否定的意見の内容

4週8休反対 43% (19)
4週8休は営業面から厳しい 30% (13)
顧客に多大な迷惑がかかる 16% (7)
相場が上昇してしまう 7% (3)
4週6休で、水・土1回ずつでの試行が必要 5% (2)

<3> その他意見の内容

検討中 50% (14)
他の月でも試行が必要 25% (7)
休市増は問題ないが、営業日が大幅減となり収益・経費面で対処必要 7% (2)
開市日が21日だったが、22～23日確保しないと経営上問題が生じる 7% (2)
月に3回程度の休市がよい 4% (1)

【青果仲卸業者】回答数85件

肯定的意見 71% (60)
否定的意見 24% (20)
その他意見 6% (5)

<1> 肯定的意見の内容

4週8休賛成 44% (27)
人材確保・労働環境改善等の観点から4週8休が必要 21% (13)
4週8休賛成だが、土曜休日で連休の方がよい 8% (5)

仕事にメリハリができた	8 % (5)
4週8休賛成だが、連休は避けて欲しい	7 % (4)
営業面から4週8休が必要	5 % (3)
4週8休賛成だが、水・土に分けたほうがよい	5 % (3)
経費削減になった	2 % (1)
<2> 否定的意見の内容	
夏場の4週8休は避けて欲しい	29 % (6)
4週8休反対	24 % (5)
相場が上昇してしまう	10 % (2)
顧客が営業しており休めない。休日手当が増えてしまう。	10 % (2)
入荷量が十分でなく、休市前に1.5日分の仕入れしかできない	5 % (1)
4週8休は営業面から厳しい	5 % (1)
顧客に多大な迷惑がかかる	5 % (1)
早出・残業が増えて大変	5 % (1)
4週6休で、水・土1回ずつでの試行が必要	5 % (1)
休市増を行うなら保冷設備投資のための補助金を出すべき	5 % (1)
<3> その他意見の内容	
他の月でも試行が必要	40 % (2)
休市増は問題ないが、営業日が大幅減となり収益・経費面で対処必要	20 % (1)
開市日が21日だったが、22~23日確保しないと経営上問題が生じる	20 % (1)
月に3回程度の休市がよい	20 % (1)

【水産売買参加者】回答数72件

肯定的意見	54 % (39)
否定的意見	26 % (19)
その他意見	19 % (14)

<1> 肯定的意見の内容	
4週8休賛成	46 % (18)
営業面から4週8休が必要	18 % (7)
人材確保・労働環境改善の観点から4週8休が必要	10 % (4)
4週8休賛成だが、水・土に分けたほうがよい	10 % (4)
経費削減になった	10 % (4)
仕事にメリハリができた	5 % (2)
<2> 否定的意見の内容	
4週8休反対	47 % (9)
4週8休は営業面から厳しい	37 % (7)
顧客に多大な迷惑がかかる	11 % (2)
早出・残業が増えて大変	5 % (1)
<3> その他意見の内容	
検討中	71 % (10)
他の月でも試行が必要	21 % (3)
月に3回程度の休市がよい	7 % (1)

【青果売買参加者】回答数 596 件

肯定的意見 35% (207)

否定的意見 58% (344)

その他意見 8% (45)

<1> 肯定的意見の内容

4週8休(週休2日)賛成	35% (75)
4週8休はよいが、土曜日休みが望ましい(連休が欲しい)	30% (65)
従業員確保、健康のために休日は必要	12% (25)
毎週水曜日休みにして欲しい	10% (21)
経費が節減、相場が安定	6% (12)
休みは多い方がいい	4% (9)
環境のためによい	2% (4)
4週8休はよいが、木曜休みが望ましい	2% (4)
在庫管理がよくなった	1% (2)

<2> 否定的意見の内容

休みが多いのは困る	34% (144)
鮮度保持が難しい、夏はやめて欲しい	29% (122)
平日休みはやめて欲しい	9% (37)
休前日に物品不足が多い	7% (31)
価格が不安定になる	6% (26)
売上、客足減少	5% (20)
今までどおりでよい	3% (13)
病院や学校などへの納品に問題がでる	3% (13)
小売店には不利である	2% (10)
休前日忙しい	1% (5)

<3> その他意見の内容

影響なし	16% (36)
休市日の法則を決めて欲しい	11% (9)
休市日は全国で統一すべき	9% (4)
その他	44% (20)

【水産小売業者】回答数 105 件

肯定的意見 19% (20)

否定的意見 77% (81)

その他意見 4% (4)

<1> 肯定的意見の内容

4週8休型に賛成	35% (7)
4週8休型に賛成だが、土曜休日で連休の方がよい	20% (4)
4週8休型に賛成だが、連休は避けてほしい	10% (2)
4週8休型で水曜休日に賛成	10% (2)
体力的に楽	15% (3)
営業面から4週8休が必要	5% (1)

	もともと店が水曜日休み	5 % (1)
<2>	否定的意見の内容	
	4週8休型に反対	40 % (37)
	鮮度に問題がある	13 % (12)
	商品数が少ない	11 % (10)
	客数が減少する	10 % (9)
	4週8休型は経営面から厳しい	8 % (7)
	4週6休型でよい	4 % (4)
	商品ロスが多い	4 % (4)
	水曜休みはいらない	4 % (4)
	相場が上昇してしまう	3 % (3)
	経費がかかる	1 % (1)
	日本の全ての店舗も週休制にして同じ土俵で競争させるべき	1 % (1)
	設備面(倉庫・保冷库等)で問題があるので反対	1 % (1)
<3>	その他意見の内容	
	他の月でも試行が必要	50 % (2)
	引き続き試行を実施して様子を見るべき	25 % (1)
	卸売業者に問題あり	25 % (1)

【鮭商】回答数22件

	肯定的意見	14 % (3)
	否定的意見	77 % (17)
	その他意見	9 % (2)
<1>	肯定的意見の内容	
	4週8休型賛成で、土曜休日で連休がよい	33 % (1)
	月1回は土曜日にしてほしい	33 % (1)
	影響は無かった	33 % (1)
<2>	否定的意見の内容	
	4週8休型に反対	33 % (6)
	仕入れに影響有	11 % (2)
	商品が少なくなる	11 % (2)
	鮮度に問題がある	11 % (2)
	客数が減る	6 % (1)
	商品ロスが増えた	6 % (1)
	水曜休日は反対	6 % (1)
	4週6休型でよい	6 % (1)
	住宅地と商業地で営業日が違うので、一律休みではなく曜日を変える	6 % (1)
	魚価が上がる	6 % (1)
<3>	その他意見の内容	
	休市に営業できる店舗を何軒か営業させる試行もやるべき	50 % (1)
	それなりに営業した	50 % (1)

【関連事業者】回答数 45 件

肯定的意見 38% (17)

否定的意見 56% (25)

その他意見 7% (3)

<1> 肯定的意見の内容

4週8休型に賛成 65% (11)

メリハリが出てよい 12% (2)

4週8休型で連休希望 12% (2)

賛成だが月に1, 2回の土曜休市がよい 6% (1)

賛成だが連休はしないで欲しい 6% (1)

<2> 否定的意見の内容

4週8休型に反対 50% (16)

売上が減少した 16% (5)

水曜休市も反対 9% (3)

4週6休でよい 9% (3)

客数が減少した 6% (2)

仕入れ値が高くなる 3% (1)

賛成だが特定月はやらないで欲しい 3% (1)

実施月限定で賛成 3% (1)

<3> その他意見の内容

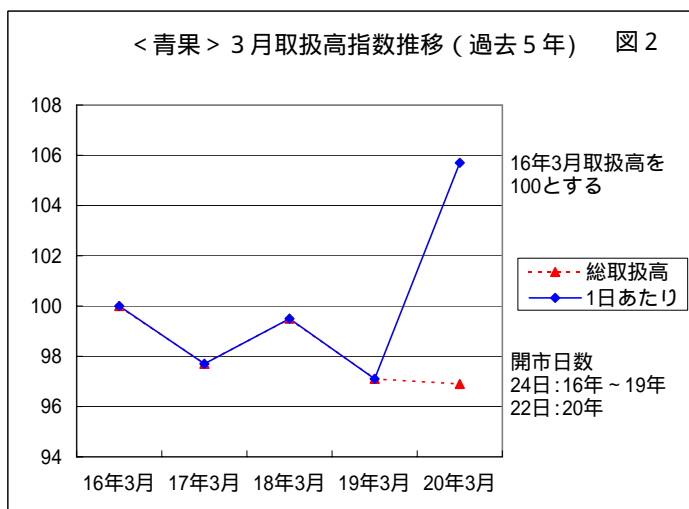
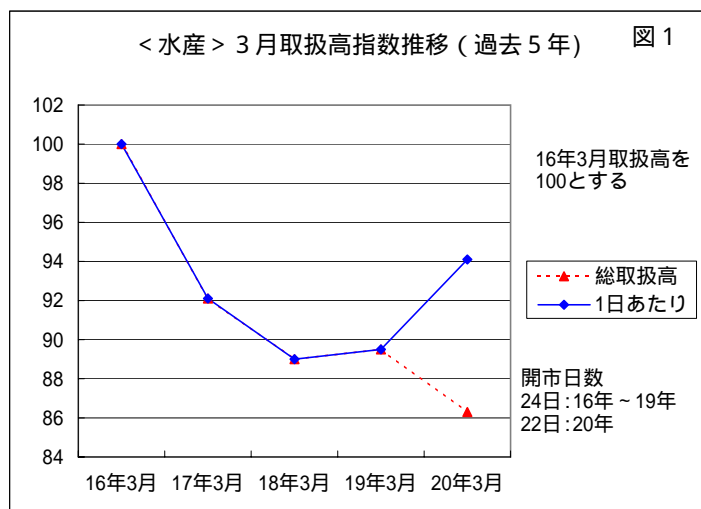
他の月でも試行が必要 33% (1)

休市日を増やすなら使用料に反映させるべき 33% (1)

変則型休市がよい 33% (1)

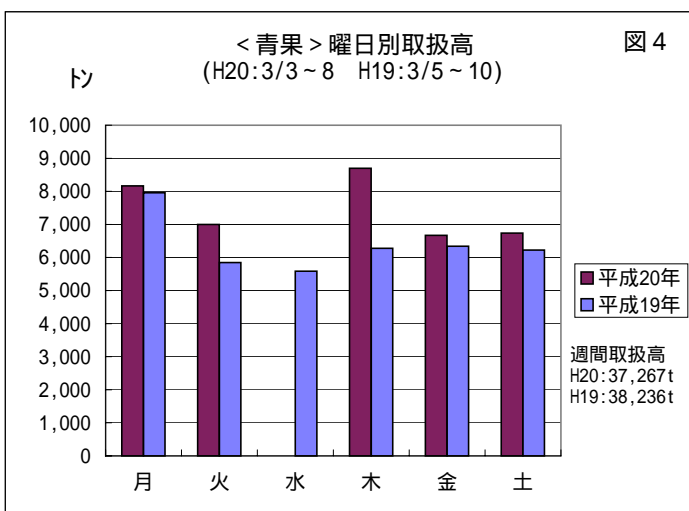
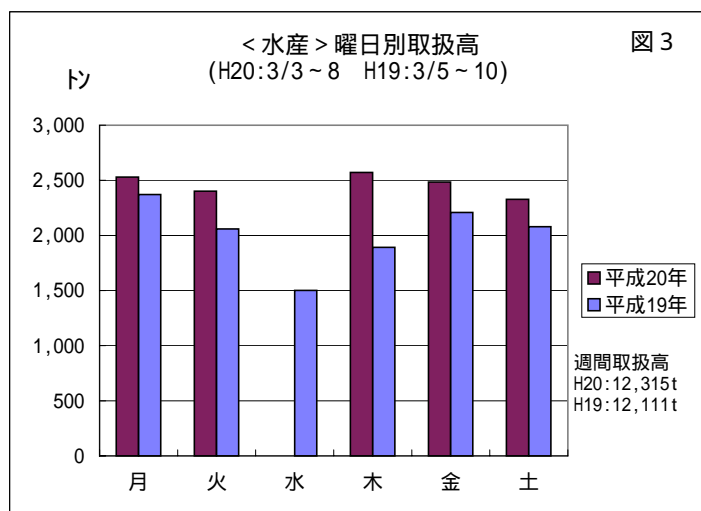
平成20年3月における4週8休型休市日試行時の取扱高実績

1 3月取扱高の推移 (図1・図2)



過去5年において減少傾向にあり、20年3月の月間取扱高に対する臨時休業日増加による影響は不明である。なお、臨時休業日増加に伴う取扱高への影響は、1日あたりの取扱高増によりカバーされている。

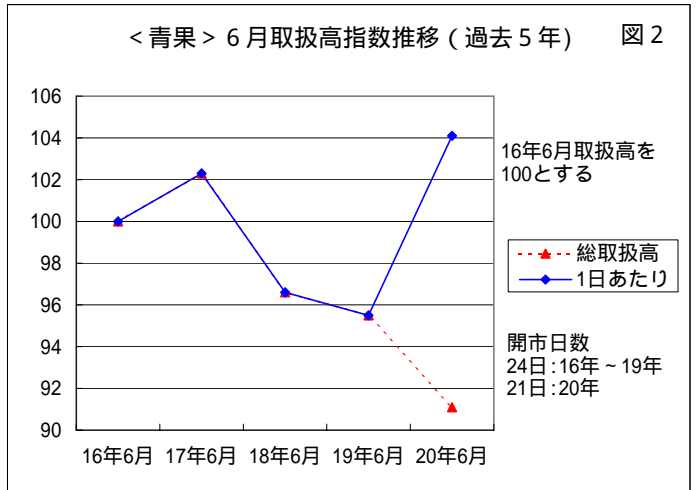
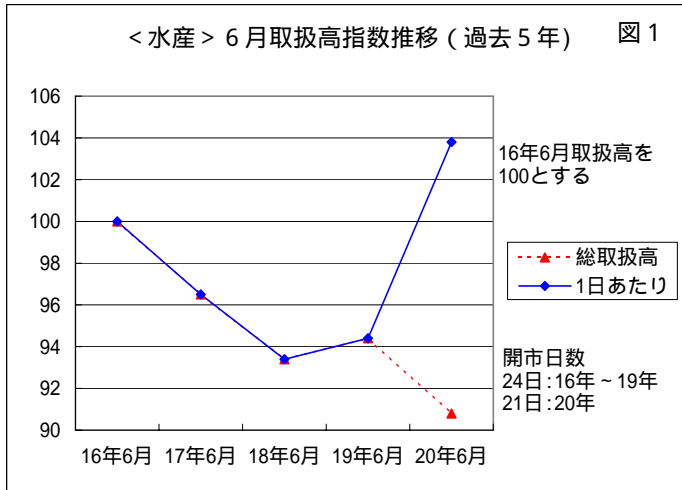
2 曜日別取扱高の対前年比較 (図3・図4)



19年の水曜日取扱分について、20年は木曜日を中心とした各曜日に取扱いが分散され、臨時休業日増加による週間取扱高の減少は認められなかった。(水産は微増 12,111t 12,315t)

平成20年6月における4週8休型休市日試行時の取扱実績

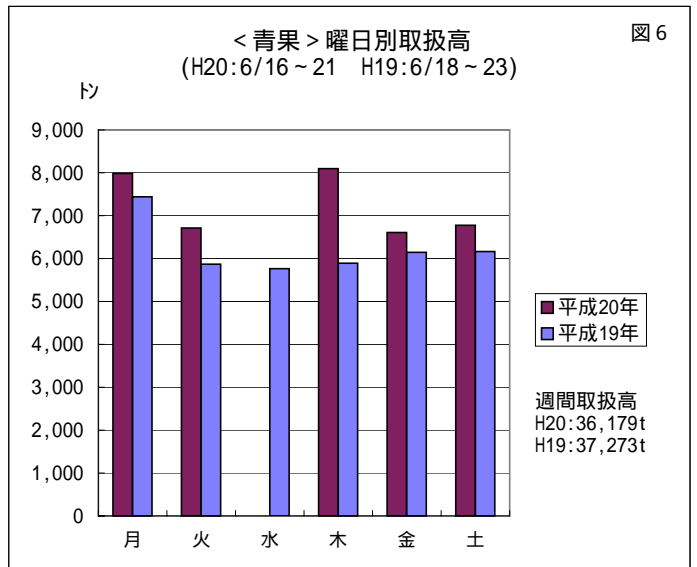
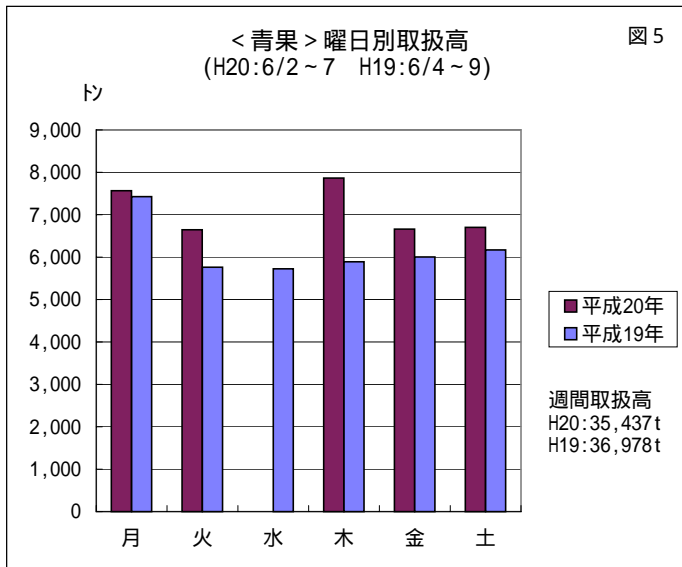
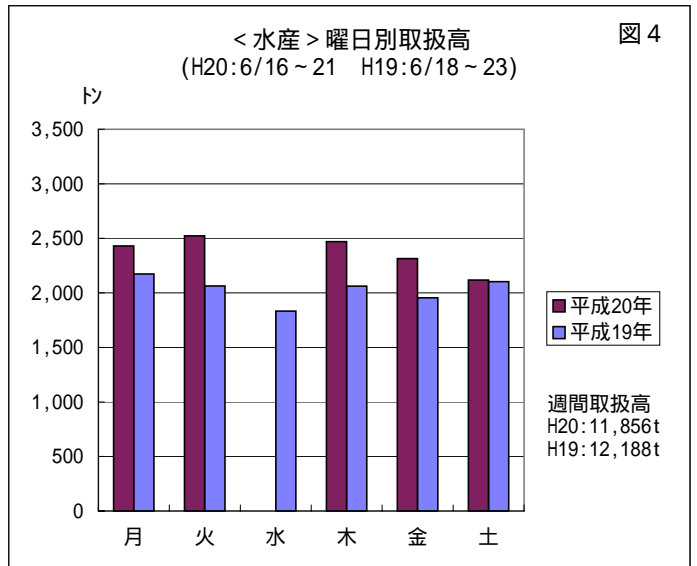
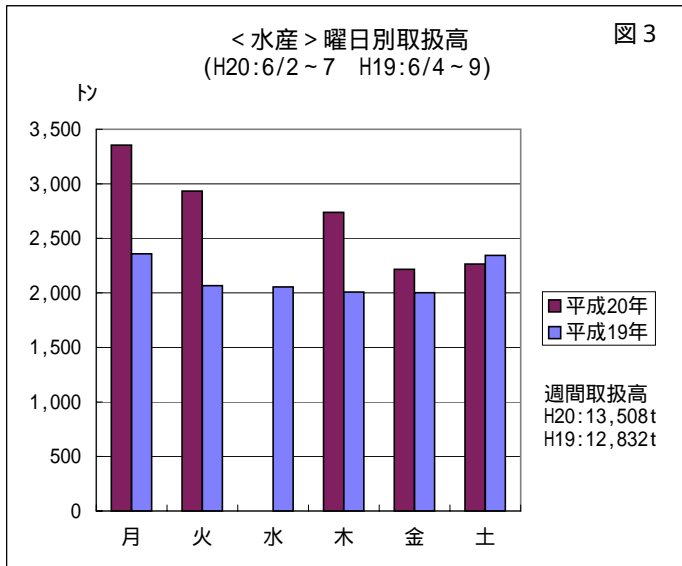
1 6月取扱高の推移 (図1・図2)



過去5年において減少傾向にあり、20年6月の月間取扱高に対する臨時休業日増加による影響は不明である。

なお、臨時休業日増加に伴う取扱高への影響は、1日あたりの取扱高増によりカバーされている。

2 曜日別取扱高の対前年比較 (図3~図6)



19年の水曜日取扱分について、水産は火・木、青果は木を中心とした各曜日に取扱が分散され、臨時休業日増加による週間取扱高の減少は認められなかった。(水産は微増 25,020t 25,364t)